

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	夜久野町生涯学習センター事業				事業コード	100501630234						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり						
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり			施策コード	422						
事業担当	所属	60030000 教育委員会 生涯学習課			所属長	岸見 貴志						
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費		会計	01 一般会計	決算附属資料	225-226	頁
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R6現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市夜久野町生涯学習センター条例、夜久野町生涯学習センター条例施行規則											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	-											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	夜久野ふれあいプラザのうち、生涯学習センター機能の部分について、安心安全かつ快適な利用環境を維持できるように管理運営を行い、生涯を通じた学びの場づくりの提供を行う。											
対象者	夜久野町生涯学習センター利用者			対象者数	74,704		単位あたりコスト	0.3				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	姫路ナフコ株式会社、株式会社西日本エスエスシー、森田電気設備管理事務所、株式会社荏原製作所西大阪支店、株式会社橋田舞台設備、アムス・セキュリティサービス株式会社、井上株式会社、公益社団法人福知山市シルバー人材センター、ライズビルサービス、株式会社丹新ビルサービス、KSS株式会社、声田建築設計事務所、株式会社夜久林業											
事業概要 (箇条書き)	舞台音響及び照明保守点検業務、消防設備保守点検業務、防火対象物定期点検業務、自家用電気工作物保安管理業務、舞台吊物設備点検業務、給水ポンプユニット設備保守点検業務、自動扉保守点検業務、樹木伐採・剪定業務、電動式移動観覧席点検業務、床面ワックス掛け業務、建築設備定期報告業務、センター周辺草刈業務、警備業務、日常美化環境整備業務 特財名称 電柱占用料(生涯学習センター) 種類 教育使用料 実績金額 6 決算付属資料10頁 特財名称 携帯電話アンテナ占用料(生涯学習センター) 種類 教育使用料 実績金額 3 決算付属資料10頁 特財名称 夜久野町生涯学習センター一部使用電気代 種類 雑入 実績金額 40 決算付属資料44頁											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目		支出実績(R5)		主な業務内容							
	需用費		6,259		光熱水費、燃料費、消耗品費、印刷製本費、施設修繕料(屋外男性トイレ小便器漏水修繕、ホール鍵修繕)							
	役務費		413		電信・電話料等、その他損害保険料、ピアノ調律料							
	委託料		3,635		自動扉保守点検業務、自家用電気工作物保安管理業務、給水ポンプユニット設備保守管理業務、舞台吊物設備保守点検業務、警備業務ほか							
	備品購入費		101		スティッククリーナー、ワイヤレスマイク							

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	12,070	11,860	11,565	0			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0				
小計(①~③)	12,070	11,860	11,565	0				
予算財源内訳	① 一般財源	11,140	9,930	11,073	0			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	1,000	0	0			
	⑤ その他特財	930	930	492	0			
決算情報	① 流充用額	△ 502	0					
	② 配当予算	11,568	11,860					
	③ 執行額	11,506	10,408					
	④ 執行率	99.5%	87.8%					
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.22 / 0.00	0.42 / 2.00	/	/			
	② 概算人件費	1,760	8,960					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	13,266	19,368						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	夜久野町生涯学習センター使用料	種類	教育使用料	実績金額	609	10	
		自動販売機設置貸付収入(夜久野町生涯学習センター)		財産貸付収入		38	32	頁
		自動販売機等電気代等(夜久野町生涯学習センター)		雑入		87	44	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	利用者数	人	10897 / 16000	13423 / 16000	14241 / 16000	/ 16000	16000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	開館日数	日	359 / 359	359 / 359	359 / 359	/ 359	359
	単位あたりコスト		32.1	32.1	29.0		
	単位あたりコスト		/	1 /	/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生涯学習の推進と、地域の活性化を図る地域拠点として活用をされている。 生涯学習センターは夜久野地域の集い・学び・交流の拠点であるため、その管理運営は優先度が高い。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 設備の管理委託等は長期継続契約を行いコストの削減に努めている。 令和4年度には、たんたんエナジーによるオンサイトPPAにて庁舎の屋根に太陽光発電を設置。費用を掛けず地産地消の電力供給を実現した。 今後、施設管理等の一部を民間事業者や地域協議会などに委託する方向性も考えられるが、コストなど比較検証が必要である。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標については、事業規模から経験的に期待される目標としており、十分に理にかなったものとは言えないものの、利用者は増加傾向にある。ただし、令和元年度は施設の屋根改修による利用制限(10月から1月)、令和2年度から3年度はコロナ感染拡大防止による休館があり利用者が減少していたが、令和5年度については、新型コロナウイルス感染症感染防止対策の制限が緩和されたことで利用者は回復傾向である。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 最新の設備を備えたプラザは市民の研修の場として広く活用されている。特に文化ホールは高い利便性と適切な規模(299席)で好評である。 市民の文化的活動の推進、集会施設として適正な利用が図れるよう、維持管理・保守管理に努めている。 建物の所管課(生涯学習課)が離れているため、施設に問題が生じた際、迅速な対応が難しい。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 美観・木質を大切にされた建物であるが、築年数が経過し、設備等に次々と不具合が生じており、交換修繕などで今後の維持管理経費の増加が懸念される。点検・状況確認を行い、計画的及び優先順位を見極めつつ修繕・改修工事を立案実施する。 支所機能に加え住民の文化・保健福祉複合機能を有しており、管理運営について生涯学習課の所管が適当であるか、関係機関と協議を行う。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	中央公民館一般管理事業				事業コード	100502630101		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり		
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり			施策コード	422		
事業担当	所属	60040000 教育委員会 中央公民館			所属長	岸見 貴志		
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費		頁
計画期間	開始年度	昭和47年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-		R6現在の状況
根拠法令等	社会教育法 福知山市立公民館条例 福知山市立公民館条例施行規則							
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
関連事業	中央公民館及び地域公民館事業							

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	市民・住民が、中央公民館を快適に利用できるよう、すみやかな利用受付を行い、また生涯学習情報を提供することにより、多くの市民の学習活動を推進していく。							
対象者	中央公民館及び地域公民館等利用可能対象者			対象者数	74,704	単位あたりコスト	0.1	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()							
委託先・実施主体等								
事業概要 (箇条書き)	・施設の維持管理運営事業 ・中央公民館の利用予約の受付、使用許可、使用料の徴収等 ・各種講座・教室等を案内する生涯学習情報誌を作成し、市内全世帯に配布することにより、市民の自主的な学びを推進する。 ・事業成果等は「公民館活動のまとめ」として作成し、社会教育関係者に配布し今後の事業推進に生かしていく。							
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容					
	報酬	240	公民館運営審議会委員報酬					
	需用費	375	各種消耗品等					
	役務費	217	通信運搬費(郵送料、Wi-Fi・電話通信料など)					
	使用料及び賃借料	194	コピー機使用料					
	負担金補助及び交付金、備品購入費	194	公民館連絡協議会分担金、ノートパソコン					

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	5,065	1,080	1,079	0				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0	0	0			
		次年度繰越	0	0	0	0			
	小計(①～③)	5,065	1,080	1,079	0				
予算財源内訳	① 一般財源	1,610	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	3,455	1,080	1,079	0				
決算情報	① 流充用額	16	149						
	② 配当予算	5,081	1,229						
	③ 執行額	5,081	1,220						
	④ 執行率	100.0%	99.3%						
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.30 / 0.30	0.24 / 2.50	/	/				
	② 概算人件費	3,240	8,920						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	8,321	10,140							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	中央公民館使用料	種類	教育使用料	実績金額	1,220	決算附属資料	10	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	公民館利用人数	人	21254 / 44000	31954 / 44000	34723 / 44000	/ 44000	44000
利用件数	件	1495 / 2500	2247 / 2500	2432 / 2500	/ 2500	2500	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	開館日数	日	290 / 359	359 / 359	360 / 359	/ 359	359
	単位あたりコスト		13.6	14.2	3.4		
	公民館まつりや文化祭等の集客イベントの開催回数	回	1 / 1	3 / 1	1 / 1	/	中央公民館一般管理事業
単位あたりコスト				1220.0			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	住民の生涯学習の拠点、また地域公民館を取りまとめる機能として中央公民館は必要不可欠な組織である。 生涯学習活動に適した多様な部屋を利用して、公民館活動の充実が図られているが、施設としては市民交流プラザふくちやまと中央公民館のさらなる活用を検討する。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	施設の維持管理及び運営については、効率性を重視し事業運営を行っている。光熱水費等もかさむことから、受益者負担として、施設使用料(減免)の見直しについて検討していく必要があるが、地域住民の学び・集い・結ぶという公民館の設置目的から、十分な議論が必要である。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	生涯学習活動やサークル活動など、駅前のランドマークであり住民が生涯学習を実践する場として需要は高く、今後も多くの利用が期待できる。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	少子高齢化や地域での人と人との絆が薄れていく現代社会状況の中で、生涯学習環境の充実整備は、より一層強く求められてきており、中央公民館が快適安全で利便性の高い公共施設として、利用数は増加傾向であったが、令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症感染拡大予防対策のため施設休止、利用制限等を余儀なくされた。令和5年度の施設利用者数は、コロナ禍前の水準に戻りつつある状況である。		
改善策	地域公民館未設置の南陵中学校区の公民館として、また、各地域公民館を統括する主管公民館であることから、今後も、公民館に多くの住民が集い、学び、人と人との絆を結ぶきっかけづくりとなるよう、生涯学習情報誌の作成や、市立公民館全体の情報発信を行い、多くの住民の学習活動を推進していく。業績指標の活動実績を公民館利用者数の増加に向けた取組として、「地域住民利用者数」から「公民館まつりや文化祭等の集客イベントの開催回数」に見直した。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 廃止/休止	<input type="checkbox"/> 予算拡充	<input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合	(統合事業名:)	<input type="checkbox"/> 他事業へ統合	(統合先事業名:)

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	川口地域公民館一般管理事業				事業コード	100502630102		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり		
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり			施策コード	422		
事業担当	所属	60040000 教育委員会 中央公民館			所属長	岸見 貴志		
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費		頁
計画期間	開始年度	昭和51年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-		R6現在の状況
根拠法令等	社会教育法 福知山市立公民館条例 福知山市立公民館条例施行規則							
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
関連事業	中央公民館及び地域公民館事業							

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	川口地域公民館の適正な管理運営により、快適・安全な施設利用を提供し、地域住民の交流を促進するとともに、生涯学習活動の場として、多くの住民に利用されることを目的とする。							
対象者	川口地域住民を中心とする地域公民館等利用可能対象者			対象者数	74,704	単位あたりコスト	0.2	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()							
委託先・実施主体等	アムセキュリティサービス株式会社、西岡電気設備管理事務所、大槻冷熱設備有限会社、株式会社西日本エスエスシー、個人							
事業概要 (簡条書き)	・施設の維持管理運営事業 ・施設の利用予約受付、使用料納付書発行等、安心安全な利用を図るため、また住民ニーズに添った施設全体の管理運営・施設修繕 ・災害時には広域避難所として使用							
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容					
	需用費	1,883	消耗品費、燃料費、光熱水費、施設修繕費(調理室照明器具修繕)					
	役員費	303	共済保険、通信運搬費(電話代)など					
	委託料	537	機械警備業務、定期清掃業務、電気工作物保安管理業務、防設備点検及び防火対象物点検業務、空調設備保守点検業務					
	使用料及び賃借料	165	印刷賃借料、テレビ受信料など					
	備品購入費	154	ノートパソコン					

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	6,333	3,767	3,347	0			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0	0	0		
		次年度繰越	0	0				
	小計(①～③)	6,333	3,767	3,347	0			
予算財源内訳	① 一般財源	6,158	3,592	3,236	0			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	175	175	111	0			
決算情報	① 流充用額	△ 757	△ 60					
	② 配当予算	5,576	3,707					
	③ 執行額	5,576	3,042					
	④ 執行率	100.0%	82.1%					
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.12 / 0.75	0.09 / 4.05	/	/			
	② 概算人件費	3,060	12,060					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	8,636	15,102						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	川口地域公民館使用料	種類	教育使用料	実績金額	157	10	頁
		自動販売機等電気代等(川口地域公民館)	雑入			25	44	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	公民館利用人数	人	1022 / 6400	4295 / 6400	4953 / 6400	/ 6400	6400
公民館利用件数	件	69 / 600	416 / 600	422 / 600	/ 600	600	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	開館日数	日	239 / 280	294 / 280	292 / 280	/ 280	280
	単位あたりコスト		15.4	19.0	10.4		
	公民館まつりや文化祭等の集客イベントの開催回数	回	0 / 1	5 / 1	1 / 1		
単位あたりコスト		0.0	1.7	3042.0			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	地域住民の生涯学習の拠点として公民館は必要不可欠であるため、市民が安全で効果的な生涯学習活動ができる施設として適正に維持管理を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	公民館の効率的な維持管理を行うため、適正に施設の保守管理、修繕等を行った。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	公民館は、地域住民の自主的な学びの場であり、サークル活動など、地域住民が生涯学習を実践する場としての需要が高いため、利用者に支障のないよう施設の維持管理を行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>少子高齢化や地域での住民同士の絆の希薄化等、社会状況が変化の中で生涯学習環境の充実及び整備は、より一層強く求められており、施設の修繕や備品の整備等を計画的に進め、地域住民に快適安全で利便性の高い公共施設を提供してきた。 地域住民に広く利用され地域の拠点とするため、令和元年度より地域包括支援センターの機能を統合し連携した取組みを行っており、今後も利用者の利便性を図ることにより利用者数を増やしていく必要がある。</p>		
改善策	<p>令和4年度から地域公民館を地域住民のニーズに添うよう、午前中から開館しており、今後も利用者の利便性の向上を図り、公民館の機能向上、市民の生涯学習環境の充実を図っていく。 また、令和5年度よりそれぞれの地域特性に応じた、協働のまちづくりを推進するため、地域公民館機能に加えて、「地域住民センター」としての機能を追加した。今後も住民・民間企業・地域団体・NPOなど多様な主体が利用できるよう、非営利活動以外での使用を可能とし、住民の主体的な地域活動の促進や地域課題に取り組む人材のネットワークの形成等を推進していく。 適正な施設の維持管理を行うため、計画的に大規模な改修を行っていく。 業績指標の活動実績を公民館利用者数の増加に向けた取組として、「地域住民利用者数」から「公民館まつりや文化祭等の集客イベントの開催回数」に見直した。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	日新地域公民館一般管理事業				事業コード	100502630103		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり		
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり			施策コード	422		
事業担当	所属	60040000 教育委員会 中央公民館			所属長	岸見 貴志		
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費		頁
計画期間	開始年度	昭和53年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-		R6現在の状況
根拠法令等	社会教育法 福知山市立公民館条例 福知山市立公民館条例施行規則							
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
関連事業	中央公民館及び地域公民館事業							

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	日新地域公民館の適正な管理運営により、快適・安全な施設利用を提供し、地域住民の交流を促進するとともに、生涯学習活動の場として、多くの住民に利用されることを目的とする。							
対象者	日新地域住民を中心とする地域公民館等利用可能対象者			対象者数	74,704	単位あたりコスト	0.2	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()							
委託先・実施主体等	アムセキュリティサービス株式会社、西岡電気設備管理事務所、個人							
事業概要 (簡条書き)	・施設の維持管理運営事業 ・施設の利用予約受付、使用料納付書発行等、安心安全な利用環境整備、また住民ニーズに添った施設全体の管理運営・施設修繕 ・災害時には広域避難所として使用							
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)		主な業務内容				
	需用費	1,613		消耗品費、燃料費、光熱水費				
	役員費	232		共済保険、通信運搬費(電話代)、ごみ廃棄手数料など				
	委託料	354		機械警備業務、定期清掃業務、電気工作物保安管理業務				
	使用料及び賃借料	145		印刷賃借料、テレビ受信料				

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	5,216	4,437	4,442	0			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0	0	0		
		次年度繰越	0	0				
	小計(①~③)	5,216	4,437	4,442	0			
予算財源内訳	① 一般財源	4,901	4,279	4,127	0			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	315	158	315	0			
決算情報	① 流充用額	△ 771	△ 1,239					
	② 配当予算	4,445	3,198					
	③ 執行額	4,445	2,344					
	④ 執行率	100.0%	73.3%					
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.12 / 0.75	0.09 / 4.05	/	/			
	② 概算人件費	3,060	12,060					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		7,505	14,404					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	日新地域公民館使用料	種類	教育使用料	実績金額	181	10	頁
		自動販売機等電気代等(日新地域公民館)		雑入		10	44	
		日新地域公民館改修工事上下水道料		雑入		176	49	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	公民館利用人数	人	5224 / 21000	8074 / 21000	11002 / 21000	/ 21000	21000
公民館利用件数	件	641 / 1500	872 / 1500	894 / 1500	/ 1500	1500	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	開館日数	日	239 / 288	294 / 288	292 / 288	/ 288	288
	単位あたりコスト		18.0	15.1	8.0		
	公民館まつりや文化祭等の集客イベントの開催回数	回	1 / 1	7 / 1	1 / 1		
単位あたりコスト		0.8	0.6	2344.0			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	地域住民の生涯学習の拠点として公民館は必要不可欠であるため、市民が安全で効果的な生涯学習活動ができる施設として適正に維持管理を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	公民館の効率的な維持管理を行うため、適正に施設の保守管理を行った。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	公民館は、地域住民の自主的な学びの場であり、サークル活動など、地域住民が生涯学習を実践する場としての需要が高いため、利用者に支障のないよう施設の維持管理を行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	少子高齢化や地域での住民同士の絆の希薄化等、社会状況が変化の中で生涯学習環境の充実及び整備は、より一層強く求められており、施設の修繕や備品の整備等を計画的に進め、地域住民に快適安全で利便性の高い公共施設を提供してきた。 地域住民に広く利用され地域の拠点とするため、利用者の利便性を図ることにより利用者数を増やしていく必要がある。		
改善策	令和4年度から地域公民館を地域住民のニーズに添うよう、午前中から開館しており、今後も利用者の利便性の向上を図り、公民館の機能向上、市民の生涯学習環境の充実を図っていく。 また、令和5年度よりそれぞれの地域特性に応じた、協働のまちづくりを推進するため、地域公民館機能に加えて、「地域住民センター」としての機能を追加した。今後も住民・民間企業・地域団体・NPOなど多様な主体が利用できるよう、非営利活動以外での使用を可能とし、住民の主体的な地域活動の促進や地域課題に取り組む人材のネットワークの形成等を推進していく。 業績指標の活動実績を公民館利用者数の増加に向けた取組として、「地域住民利用者数」から「公民館まつりや文化祭等の集客イベントの開催回数」に見直した。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	北陵地域公民館一般管理事業				事業コード	100502630104		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり		
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり			施策コード	422		
事業担当	所属	60040000 教育委員会 中央公民館			所属長	岸見 貴志		
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費		頁
計画期間	開始年度	昭和55年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-		R6現在の状況
根拠法令等	社会教育法 福知山市立公民館条例 福知山市立公民館条例施行規則							
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
関連事業	中央公民館及び地域公民館事業							

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	北陵地域公民館の適正な管理運営により、快適・安全な施設利用を提供し、地域住民の交流を促進するとともに、生涯学習活動の場として、多くの住民に利用されることを目的とする。							
対象者	北陵地域住民を中心とする地域公民館等利用可能対象者			対象者数	74,704	単位あたりコスト	0.2	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()							
委託先・実施主体等	アムセキュリティサービス株式会社、株式会社西日本エスエスシー、株式会社かんとす、福知山地方森林組合							
事業概要 (簡条書き)	・施設の維持管理運営事業 ・施設の利用予約受付、使用料納付書発行等、安心安全な利用を図るため、また住民ニーズに添った施設全体の管理運営・施設修繕 ・災害時には広域避難所として使用							
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容					
	需用費	1,009	消耗品費、燃料費、光熱水費、施設修繕費(体育館窓ガラス修繕、除雪機修繕)					
	役員費	224	共済保険、通信運搬費(電話代)、水質検査一式(浄化槽法定検査)					
	委託料	963	機械警備業務、消防設備点検及び防火対象物点検、浄化槽清掃及び維持管理業務、枯松伐採業務					
	使用料及び賃借料	178	印刷賃借料、テレビ受信料など					
備品購入費	186	クリーナー、ノートパソコン						

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	4,172	2,384	1,939	0			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0	0	0		
		次年度繰越	0	0				
	小計(①～③)	4,172	2,384	1,939	0			
予算財源内訳	① 一般財源	4,157	2,234	1,600	0			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	15	150	339	0			
決算情報	① 流充用額	381	289					
	② 配当予算	4,553	2,673					
	③ 執行額	4,553	2,561					
	④ 執行率	100.0%	95.8%					
人概工算	① 従事職員数 <small>正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員</small>	0.15 / 0.75	0.19 / 4.05	/	/			
	② 概算人件費	3,300	12,860					
トータルコスト <small>(予算執行額+概算人件費)</small>	7,853	15,421						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	北陵地域公民館使用料	種類	教育使用料	実績金額	40	10	頁
		北陵地域体育館警察無線電気使用料		雑入	8	44		
		北陵地域公民館太陽光発電売電料		雑入	300	49		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	公民館利用人数	人	976 / 1000	3695 / 1000	3765 / 4000	/ 5000	5000
公民館利用件数	件	47 / 35	150 / 35	195 / 200	/ 250	250	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	開館日数	日	239 / 288	294 / 288	292 / 288	/ 288	288
	単位あたりコスト		10.0	15.5	8.8		
	公民館まつりや文化祭等の集客イベントの開催回数	回	0 / 1	9 / 1	1 / 1		
単位あたりコスト		0.0	2.7	2561.0			

北陵地域公民館一般管理事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	地域住民の生涯学習の拠点として公民館は必要不可欠であるため、市民が安全で効果的な生涯学習活動ができる施設として適正に維持管理を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	公民館の効率的な維持管理を行うため、適正に施設の保守管理、修繕等を行った。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	公民館は、地域住民の自主的な学びの場であり、サークル活動など、地域住民が生涯学習を実践する場としての需要が高いため、利用者に支障のないよう施設の維持管理を行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	少子高齢化や地域での住民同士の絆の希薄化等、社会状況が変化する中で生涯学習環境の充実及び整備は、より一層強く求められており、施設の修繕や備品の整備等を計画的に進め、地域住民に快適安全で利便性の高い公共施設を提供してきた。 地域住民に広く利用され地域の拠点とするため、利用者の利便性を図ることにより利用者数を増やしていく必要がある。		
改善策	生涯学習の拠点としての公民館機能に加え、地域福祉、住民自治、避難所機能等、地域経済発展に寄与するより多目的な機能を有した「住民センター」とすべく、施設の新築工事と合わせ、関係課及び地域住民と協議を行い、令和4年度より「地域住民センター」の位置づけを行った。 また、令和4年度から地域公民館を地域住民のニーズに添うよう、午前中から開館しており、今後も地域公民館の利用機会拡大による施設の有効活用と市民サービス・満足度の向上を図っていく。 公民館利用者数の現状に応じて、令和5年度から業績指標の成果実績及び活動実績の最終目標の数値を見直した。 業績指標の活動実績を公民館利用者数の増加に向けた取組として、「地域住民利用者数」から「公民館まつりや文化祭等の集客イベントの開催回数」に見直した。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	六人部地域公民館一般管理事業					事業コード	100502630105					
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり						
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり			施策コード	422						
事業担当	所属	60040000 教育委員会 中央公民館			所属長	岸見 貴志						
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費		会計	01 一般会計	決算附属資料	230・231	頁
計画期間	開始年度	昭和60年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R6現在の状況	継続中		
根拠法令等	社会教育法 福知山市立公民館条例 福知山市立公民館条例施行規則											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	中央公民館及び地域公民館事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	六人部地域公民館の適正な管理運営により、快適・安全な施設利用を提供し、地域住民の交流を促進するとともに、そして生涯学習活動の場として、多くの住民に利用されることを目的とする。											
対象者	六人部地域住民を中心とする地域公民館等利用可能対象者			対象者数	74,704		単位あたりコスト	0.2				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	アムセキュリティサービス株式会社、西岡電気設備管理事務所、株式会社西日本エスエスシー、個人											
事業概要 (簡潔書き)	・施設の維持管理運営事業 ・施設の利用予約受付、使用料納付書発行等、安心安全な利用を図るために施設全体の管理運営・施設修繕 ・災害時には広域避難所として使用											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)		主な業務内容								
	需用費	1,429		消耗品費、燃料費、光熱水費、施設修繕費(汚水樹修繕、運動場トイレ扉修繕、体育館バレーネット修繕)								
	役員費	237		共済保険、通信運搬費(電話代)など								
	委託料	334		機械警備業務、定期清掃業務、電気工作物保安管理業務、消防設備点検及び防火対象物点検業務								
	使用料及び賃借料	145		印刷賃借料、テレビ受信料								
	備品購入費	154		ノートパソコン								

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	5,987	3,285	2,697	0				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0	0	0			
		次年度繰越	0	0					
	小計(①～③)	5,987	3,285	2,697	0				
予算財源内訳	① 一般財源	5,502	3,117	2,529	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	485	168	168	0				
決算情報	① 流充用額	△ 761	△ 97						
	② 配当予算	5,226	3,188						
	③ 執行額	5,226	2,300						
	④ 執行率	100.0%	72.1%						
人概工算	① 従事職員数 <small>正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員</small>	0.12 / 0.75	0.09 / 4.05	/	/				
	② 概算人件費	3,060	12,060						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		8,286	14,360						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	六人部地域公民館使用料	種類	教育使用料	実績金額	151	決算附属資料	10	頁
		自動販売機等電気代等(六人部地域公民館)		雑入		13		44	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	公民館利用人数	人	10530 / 22500	15790 / 22500	7288 / 22500	/ 8000	22500
公民館利用件数	件	1005 / 3200	1444 / 3200	717 / 3200	/ 3200	3200	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	開館日数	日	239 / 288	294 / 288	292 / 288	/ 288	288
	単位あたりコスト		14.2	17.8	7.9		
	公民館まつりや文化祭等の集客イベントの開催回数	回	0 / 1	11 / 1	1 / 1		
	単位あたりコスト		0.0	0.3	2300.0		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	地域住民の生涯学習の拠点として公民館は必要不可欠であるため、市民が安全で効果的な生涯学習活動ができる施設として適正に維持管理を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	公民館の効率的な維持管理を行うため、適正に施設の保守管理を行った。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	公民館は、地域住民の自主的な学びの場であり、サークル活動など、地域住民が生涯学習を実践する場としての需要が高いため、利用者に支障のないよう施設の維持管理を行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>少子高齢化や地域での住民同士の絆の希薄化等、社会状況が変化の中で生涯学習環境の充実及び整備は、より一層強く求められており、施設の修繕や備品の整備等を計画的に進め、地域住民に快適安全で利便性の高い公共施設を提供してきた。 地域住民に広く利用され地域の拠点とするため、利用者の利便性を図ることにより利用者数を増やしていく必要がある。</p>		
改善策	<p>令和4年度から地域公民館を地域住民のニーズに添うよう、午前中から開館しており、今後も利用者の利便性の向上を図り、公民館の機能向上、市民の生涯学習環境の充実を図っていく。 また、令和5年度よりそれぞれの地域特性に応じた、協働のまちづくりを推進するため、地域公民館機能に加えて、「地域住民センター」としての機能を追加した。今後も住民・民間企業・地域団体・NPOなど多様な主体が利用できるよう、非営利活動以外での使用を可能とし、住民の主体的な地域活動の促進や地域課題に取り組む人材のネットワークの形成等を推進していく。 適正な施設の維持管理を行うため、計画的に大規模な改修を行っていく。 公民館利用者数の現状に応じて、令和6年度の目標数値を見直した。 業績指標の活動実績を公民館利用者数の増加に向けた取組として、「地域住民利用者数」から「公民館まつりや文化祭等の集客イベントの開催回数」に見直した。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	成和地域公民館一般管理事業				事業コード	100502630106		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり		
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり			施策コード	422		
事業担当	所属	60040000 教育委員会 中央公民館			所属長	岸見 貴志		
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費		頁
計画期間	開始年度	昭和61年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-		R6現在の状況
根拠法令等	社会教育法 福知山市立公民館条例 福知山市立公民館条例施行規則							
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
関連事業	中央公民館及び地域公民館事業							

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	成和地域公民館の適正な管理運営により、快適・安全な施設利用を提供し、地域住民の交流を促進するとともに、生涯学習活動の場として、多くの住民に利用されることを目的とする。							
対象者	成和地域住民を中心とする地域公民館等利用可能対象者			対象者数	74,704	単位あたりコスト	0.2	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()							
委託先・実施主体等	アムセキュリティサービス株式会社、西岡電気設備管理事務所、大槻冷熱設備有限会社、株式会社西日本エスエスシー、個人							
事業概要 (簡条書き)	・施設の維持管理運営事業 ・施設の利用予約受付、使用料納付書発行等、安心安全な利用を図るために施設全体の管理運営・施設修繕 ・災害時には広域避難所として使用							
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容					
	需用費	4,170	消耗品費、燃料費、光熱水費、施設修繕費(渡り廊下天井修繕、事務室空調設備修繕、分電盤取手修繕)					
	役員費	296	共済保険、通信運搬費(電話代)など					
	委託料	784	機械警備業務、定期清掃業務、電気工作物保安管理業務、空調設備保守点検業務、消防設備点検及び防火対象物点検業務					
	使用料及び賃借料	145	印刷賃借料、テレビ受信料					
備品購入費	174	FAX機能付き電話機、ノートパソコン						

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	9,900	7,162	6,360	0			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0				
	次年度繰越	0	0					
小計(①~③)	9,900	7,162	6,360	0				
予算財源内訳	① 一般財源	9,270	6,532	5,705	0			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	630	630	655	0			
決算情報	① 流充用額	△ 2,252	△ 859					
	② 配当予算	7,648	6,303					
	③ 執行額	7,648	5,569					
	④ 執行率	100.0%	88.4%					
人概工算	① 従事職員数 <small>正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員</small>	0.12 / 0.75	0.09 / 4.05	/	/			
	② 概算人件費	3,060	12,060					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	10,708	17,629						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	成和地域公民館使用料	種類	教育使用料	実績金額	416	10	頁
		自動販売機等電気代等(成和地域公民館)		雑入		53	44	
		公衆電話設置等手数料(成和地域公民館)		雑入		1	45	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	公民館利用人数	人	16023 / 28000	25215 / 28000	24631 / 28000	/ 28000	28000
公民館利用件数	件	996 / 1500	1605 / 1500	1687 / 1500	/ 1500	1500	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	開館日数	日	239 / 289	294 / 289	292 / 289	/ 289	289
	単位あたりコスト		24.1	26.0	19.1		
	公民館まつりや文化祭等の集客イベントの開催回数	回	0 / 1	13 ¹ / 1	1 / 1		
単位あたりコスト		0.0	0.4	5569.0			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	地域住民の生涯学習の拠点として公民館は必要不可欠であるため、市民が安全で効果的な生涯学習活動ができる施設として適正に維持管理を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	公民館の効率的な維持管理を行うため、適正に施設の保守管理を行った。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	公民館は、地域住民の自主的な学びの場であり、サークル活動など、地域住民が生涯学習を実践する場としての需要が高いため、利用者に支障のないよう施設の維持管理を行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>少子高齢化や地域での住民同士の絆の希薄化等、社会状況が変化の中で生涯学習環境の充実及び整備は、より一層強く求められており、施設の修繕や備品の整備等を計画的に進め、地域住民に快適安全で利便性の高い公共施設を提供してきた。地域住民に広く利用され地域の拠点とするため、令和元年度より地域包括支援センターの機能を統合し連携した取組みを行っており、今後も利用者の利便性を図ることにより利用者数を増やしていく必要がある。</p>		
改善策	<p>令和4年度から地域公民館を地域住民のニーズに添うよう、午前中から開館しており、今後も利用者の利便性の向上を図り、公民館の機能向上、市民の生涯学習環境の充実を図っていく。 また、令和5年度よりそれぞれの地域特性に応じた、協働のまちづくりを推進するため、地域公民館機能に加えて、「地域住民センター」としての機能を追加した。今後も住民・民間企業・地域団体・NPOなど多様な主体が利用できるよう、非営利活動以外での使用を可能とし、住民の主体的な地域活動の促進や地域課題に取り組む人材のネットワークの形成等を推進していく。 適正な施設の維持管理を行うため、計画的に大規模な改修を行っていく。 業績指標の活動実績を公民館利用者数の増加に向けた取組として、「地域住民利用者数」から「公民館まつりや文化祭等の集客イベントの開催回数」に見直した。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	桃映地域公民館一般管理事業				事業コード	100502630107		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり		
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり			施策コード	422		
事業担当	所属	60040000 教育委員会 中央公民館			所属長	岸見 貴志		
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費		頁
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-		R6現在の状況
根拠法令等	社会教育法 福知山市立公民館条例 福知山市立公民館条例施行規則							
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
関連事業	中央公民館及び地域公民館事業							

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	桃映地域公民館の適正な管理運営により、快適・安全な施設利用を提供し、地域住民の交流を促進するとともに、生涯学習活動の場として、多くの住民に利用されることを目的とする。							
対象者	桃映地域住民を中心とする地域公民館等利用可能対象者			対象者数	74,704	単位あたりコスト	0.2	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()							
委託先・実施主体等	アムセキュリティサービス株式会社、株式会社西日本エスエスシー							
事業概要 (箇条書き)	・施設の維持管理運営事業 ・施設の利用予約受付、使用料納付書発行等、安心安全な利用を図るために施設全体の管理運営・施設修繕							
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容					
	需用費	1,435	消耗品費、燃料費、光熱水費、施設修繕費(カーテン紐引きレール修繕、トイレ修繕、西側駐車場入口外灯修繕)					
	役員費	181	共済保険、通信運搬費(電話代)など					
	委託料	65	機械警備業務、消防設備点検及び防火対象物点検業務					
	使用料及び賃借料	145	印刷賞賃借料、テレビ受信料					
備品購入費	174	FAX機能付き電話機、ノートパソコン						

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	4,231	1,715	3,361	0			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0	0	0		
		次年度繰越	0	0	0	0		
	小計(①~③)	4,231	1,715	3,361	0			
予算財源内訳	① 一般財源	3,756	1,240	2,771	0			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	475	475	590	0			
決算情報	① 流充用額	△ 379	404					
	② 配当予算	3,852	2,119					
	③ 執行額	3,852	2,000					
	④ 執行率	100.0%	94.4%					
人概工算	① 従事職員数 <small>正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員</small>	0.12 / 0.75	0.09 / 4.05	/	/			
	② 概算人件費	3,060	12,060					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		6,912	14,060					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	桃映地域公民館使用料	種類	教育使用料	実績金額	429	10	頁
		自動販売機等電気代等(桃映地域公民館)	雑入			27	44	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	公民館利用人数	人	7722 / 9000	12130 / 9000	13259 / 12500	/ 13000	13000
	公民館利用件数	件	846 / 1200	1333 / 1200	1567 / 1400	/ 14450	1450
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	開館日数	日	222 / 288	294 / 288	292 / 288	/ 288	288
		単位あたりコスト	9.2	13.1	6.8		
	公民館まつりや文化祭等の集客イベントの開催回数	回	1 / 1	15 ¹ / 1	1 / 1		
	単位あたりコスト	0.6	0.7	2000.0			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	地域住民の生涯学習の拠点として公民館は必要不可欠であるため、市民が安全で効果的な生涯学習活動ができる施設として適正に維持管理を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	公民館の効率的な維持管理を行うため、適正に施設の保守管理を行った。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	公民館は、地域住民の自主的な学びの場であり、サークル活動など、地域住民が生涯学習を実践する場としての需要が高いため、利用者に支障のないよう施設の維持管理を行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	少子高齢化や地域での住民同士の絆の希薄化等、社会状況が変化の中で生涯学習環境の充実及び整備は、より一層強く求められており、施設の修繕や備品の整備等を計画的に進め、地域住民に快適安全で利便性の高い公共施設を提供してきた。 地域住民に広く利用され地域の拠点とするため、利用者の利便性を図ることにより利用者数を増やしていく必要がある。		
改善策	生涯学習の拠点としての公民館機能に加え、地域福祉、住民自治、人権、避難所機能等、地域経済発展に寄与するより多目的な機能を有した新たな桃映地域公民館の建設が着工したことに伴い、運用・管理面の協議を関係課と行う。 令和4年度から地域公民館を地域住民のニーズに添うよう、午前中から開館しており、今後も利用者の利便性の向上を図り、公民館の機能向上、市民の生涯学習環境の充実を図っていく。 公民館利用者数の現状に応じて、令和5年度から成果実績及び活動実績の最終目標の数値を見直した。 業績指標の活動実績を公民館利用者数の増加に向けた取組として、「地域住民利用者数」から「公民館まつりや文化祭等の集客イベントの開催回数」に見直した。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	三和地域公民館一般管理事業				事業コード	100502630108		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり		
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり			施策コード	422		
事業担当	所属	60040000 教育委員会 中央公民館			所属長	岸見 貴志		
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費		頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-		R6現在の状況
根拠法令等	社会教育法 福知山市立公民館条例 福知山市立公民館条例施行規則							
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
関連事業	中央公民館及び地域公民館事業							

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	三和地域公民館の適正な管理運営により、快適・安全な施設利用を提供し、地域住民の交流を促進するとともに、生涯学習活動の場として、多くの住民に利用されることを目的とする。							
対象者	三和地域住民を中心とする地域公民館等利用可能対象者			対象者数	74,704	単位あたりコスト	0.1	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()							
委託先・実施主体等	アムセキュリティサービス株式会社、東芝エレベータ株式会社関西支社、西岡電気設備管理事務所、姫路ナブコ株式会社、株式会社西日本エスエスシー、個人							
事業概要 (簡条書き)	・施設の維持管理運営事業 ・施設の利用予約受付、使用料納付書発行等、安心安全な利用を図るために施設全体の管理運営・施設修繕 ・災害時においては広域避難所として使用							
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容					
	需用費	2,038	消耗品費、燃料費、光熱水費					
	役務費	37	共済保険、ピアノ調律料、郵送料					
	委託料	1,011	機械整備業務、電気工作物保安管理業務、定期清掃業務、エレベーター設備保守点検業務、自動扉保守点検業務、消防設備点検及び防火対象物点検業務					
	使用料及び賃借料	33	テレビ受信料					
備品購入費	269	プリンター、壁掛ホワイトボード、マガジンパーテーション、ノートパソコン						

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	4,890	4,547	1,815	0				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0	0	0			
		次年度繰越	0	0					
	小計(①～③)	4,890	4,547	1,815	0				
予算財源内訳	① 一般財源	4,775	4,432	1,815	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	115	115	0	0				
決算情報	① 流充用額	△ 871	△ 50						
	② 配当予算	4,019	4,497						
	③ 執行額	4,019	3,387						
	④ 執行率	100.0%	75.3%						
人概工算	① 従事職員数 <small>正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員</small>	0.12 / 0.75	0.09 / 2.05	/	/				
	② 概算人件費	3,060	6,460						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	7,079	9,847							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	三和地域公民館使用料	種類	教育使用料	実績金額	104	決算附属資料	10	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	公民館利用人数	人	3536 / 8200	4367 / 8200	6824 / 8200	/ 8200	8200
公民館利用件数	件	350 / 700	467 / 700	675 / 700	/ 700	700	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	開館日数	日	290 / 359	359 / 359	360 / 359	/ 359	359
	単位あたりコスト		13.6	11.2	9.4		
	公民館まつりや文化祭等の集客イベントの開催回数	回	1 / 1	17 ¹ / 1	1 / 1		
単位あたりコスト		1.1	1.0	3387.0			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	地域住民の生涯学習の拠点として公民館は必要不可欠であるため、市民が安全で効果的な生涯学習活動ができる施設として適正に維持管理を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	公民館の効率的な維持管理を行うため、適正に施設の保守管理を行った。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	公民館は、地域住民の自主的な学びの場であり、サークル活動など、地域住民が生涯学習を実践する場としての需要が高いため、利用者に支障のないよう施設の維持管理を行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>少子高齢化や地域での住民同士の絆の希薄化等、社会状況が変化の中で生涯学習環境の充実及び整備は、より一層強く求められており、施設の修繕や備品の整備等を計画的に進め、地域住民に快適安全で利便性の高い公共施設を提供してきた。今後も地域住民に広く利用され地域の拠点としての活用を図り、利用者を増やしていく。</p>		
改善策	<p>令和4年度から三和荘内に事務所を移転しており、今後も支所との連携を図り、体育施設等の有効活用により、利用者増につなげる。業績指標の活動実績を公民館利用者数の増加に向けた取組として、「地域住民利用者数」から「公民館まつりや文化祭等の集客イベントの開催回数」に見直した。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	夜久野地域公民館一般管理事業					事業コード	100502630112					
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり						
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり				施策コード	422					
事業担当	所属	60040000 教育委員会 中央公民館			所属長	岸見 貴志						
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費		会計	01 一般会計	決算附属資料	232	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R6現在の状況	継続中		
根拠法令等	社会教育法 福知山市立公民館条例 福知山市立公民館条例施行規則											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	中央公民館及び地域公民館事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	夜久野地域の旧小学校体育施設を適正に管理することにより、市民の交流の場として、体力増進、健康づくりの活動が快適、安全に行なえることを目的とする。											
対象者	夜久野地域住民を中心とする地域公民館等利用可能対象者			対象者数	74,704		単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (簡条書き)	・施設の維持管理運営事業 ・旧小学校体育施設の利用予約受付、使用料納付書発行等、安心安全な利用を図るために施設全体の管理運営・施設修繕											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)		主な業務内容								
	需用費	68		消耗品費、燃料費、施設修繕費(プリンタ修繕)								
	役務費	128		通信運搬費(電話代)、郵送料								
	使用料及び賃借料	13		テレビ受信料								
	備品購入費	154		ノートパソコン								

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,307	266	276	0				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0	0	0			
		次年度繰越	0	0					
	小計(①~③)	1,307	266	276	0				
予算財源内訳	① 一般財源	1,297	256	261	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	10	10	15	0				
決算情報	① 流充用額	△ 38	234						
	② 配当予算	1,269	500						
	③ 執行額	1,269	364						
	④ 執行率	100.0%	72.8%						
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.12 / 0.75	0.09 / 2.05	/	/				
	② 概算人件費	3,060	6,460						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,329	6,824							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	旧小学校体育施設使用料(夜久野)	種類	教育使用料	実績金額	5	決算附属資料	10	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	夜久野町旧小学校体育施設利用者	人	1451 / 1500	1662 / 1500	1382 / 1500	/ 1500	1500
	夜久野町旧小学校体育施設利用件数	件	125 / 200	172 / 200	153 / 200	/ 200	200
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	開館日数	日	290 / 359	359 / 359	360 / 359	/ 359	359
	単位あたりコスト		5.5	3.5	1.0		
	単位あたりコスト		1.2	0.8			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	地域住民の生涯学習の拠点として公民館は必要不可欠であるため、市民が安全で効果的な生涯学習活動ができる施設として適正に維持管理を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	施設の効率的な維持管理を行うため、適正に施設の管理を行った。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	公民館は、地域住民の自主的な学びの場であり、サークル活動など、地域住民が生涯学習を実践する場としての需要が高いため、利用者に支障のないよう施設の維持管理を行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	少子高齢化や地域での住民同士の絆の希薄化等、社会状況が変化の中で生涯学習環境の充実及び整備は、より一層強く求められており、施設の修繕や備品の整備等を計画的に進め、地域住民に快適安全で利便性の高い公共施設を提供してきた。 地域住民に広く利用され地域の拠点とするため、利用者の利便性を図ることにより利用者数を増やしていく必要がある。		
改善策	施設の適正な維持管理を行うため計画的に修繕を行う必要がある。 業績指標の活動実績の内容について見直した。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	大江町総合会館運営事業				事業コード	100502630116		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり		
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり			施策コード	422		
事業担当	所属	60040000 教育委員会 中央公民館			所属長	岸見 貴志		
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費		頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-		R6現在の状況
根拠法令等	社会教育法 福知山市大江町過疎地域総合センター条例 福知山市大江町過疎地域総合センター条例施行規則							
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
関連事業	中央公民館及び地域公民館事業							

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	大江町総合会館を適正に管理することにより、快適・安全な施設利用を進め、イベントホールもあることから、地域内外からの住民交流や生涯学習活動の場として利用されることを目的とする。							
対象者	大江地域住民を中心とする大江町総合会館利用可能対象者			対象者数	74,704	単位あたりコスト	0.2	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()							
委託先・実施主体等	三精テクノロジーズ株式会社、オニテック、KSS株式会社、姫路ナブコ株式会社、由良電気設備管理事務所、株式会社丹新ビルサービス、株式会社日匠設計							
事業概要 (箇条書き)	・施設の維持管理運営事業 ・施設の利用予約受付、使用料納付書発行等、安心安全な利用を図るために施設全体の管理運営・施設修繕							
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容					
	需用費	6,588	消耗品費、光熱水費、燃料費、施設修繕費(1階廊下排煙窓修繕、1階北側扉修繕、非常用放送設備修繕ほか)					
	役員費	77	共済保険、ピアノ調律料					
	委託料	1,628	電気工作物保安管理業務、エレベーター設備保守点検業務、自動扉保守点検業務、消防設備点検及び防火対象物点検業務ほか					

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	8,244	7,544	8,068	0			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0	0	0		
		次年度繰越	0	0				
	小計(①～③)	8,244	7,544	8,068	0			
予算財源内訳	① 一般財源	7,774	7,074	7,038	0			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	300	0			
	⑤ その他特財	470	470	730	0			
決算情報	① 流充用額	915	755					
	② 配当予算	9,159	8,299					
	③ 執行額	9,159	8,293					
	④ 執行率	100.0%	99.9%					
人概工算	① 従事職員数 <small>正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員</small>	0.11 / 0.05	0.13 / 2.05	/	/			
	② 概算人件費	1,020	6,780					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		10,179	15,073					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	大江町総合会館使用料	種類	教育使用料	859	決算附属資料	10	頁
		自動販売機等電気代等(大江町総合会館)		雑入	23		44	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	総合会館利用人数	人	11510 / 25000	20040 / 25000	16483 / 25000	/ 25000	25000
総合会館利用件数	件	337 / 700	718 / 700	548 / 700	/ 700	700	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	開館日数	日	287 / 359	356 / 359	357 / 359	/ 359	359
	単位あたりコスト		28.4	25.7	23.2		
	単位あたりコスト		/	21 /	/	/	大江町総合会館運営事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	支所と連動した大江駅前の中心施設であり、適正な施設管理を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	施設の効率的な維持管理を行うため、適正に施設の管理を行った。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	地域住民の自主的な学びの場であり、サークル活動など、地域住民が生涯学習を実践する場としての需要が高いため、利用者に支障のないよう施設の維持管理を行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	少子高齢化や地域での住民同士の絆の希薄化等、社会状況が変化する中で生涯学習環境の充実及び整備は、より一層強く求められており、施設の修繕や備品の整備等を計画的に進め、地域住民に快適安全で利便性の高い公共施設を提供してきた。地域住民に広く利用され地域の拠点とするため、利用者の利便性を図ることにより利用者数を増やしていく必要がある。支所と連携して活用を図る施設であるため、今後の施設運営・管理について、効率性・有効性を考えていく必要がある。		
改善策	施設の維持管理を適正に行うため計画的に修繕を行い利用者の利便性を図る。また、大きなホールもあることから多くの市民が利用し、活用していただくための企画の充実や周知方法についても検討していく。施設の運営・管理について、効率性・有効性を考え検討する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	スマートシティふくちやま生涯学習市民講座実施事業					事業コード	100502630146					
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり						
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり			施策コード	422						
事業担当	所属	60040000 教育委員会 中央公民館			所属長	岸見 貴志						
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費		会計	01 一般会計	決算附属資料	233	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和5年度	関連計画名	-			R6現在の状況	廃止/休止		
根拠法令等	-											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	中央公民館及び地域公民館事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	本市のスマートシティ推進計画実現に向け各公民館でIT講座を実施する経費。本市のスマートシティ推進計画は、すべての市民がICT等による利便性の高い社会の中で、安心・安全に暮らし続けることを目標に推進している。この計画のもと、「誰一人取り残さない」スマートシティを目指し、地域公民館10館でスマホやタブレット等身近なICT機器の便利な使い方や活用法を学ぶ、生涯学習市民講座を生涯を通じた学びの一環として開催する。											
対象者	講座参加者	対象者数	300		単位あたりコスト	25.5						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	福知山公立大学情報学部											
事業概要 (箇条書き)	福知山公立大学情報学部と連携し、教員及び学生が講師を務め、中央公民館及び各地域公民館計10館で生活に役立つ8つのコースを設け、各公民館が3つの講座を選択して、スマホ講座を実施。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容									
	委託料	2,100	スマホ講座委託料									

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,148	2,131	0	0				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0	0	0			
		次年度繰越	0	0					
	小計(①～③)	2,148	2,131	0	0				
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	2,148	2,131	0	0				
決算情報	① 流充用額	△ 48	0						
	② 配当予算	2,100	2,131						
	③ 執行額	2,100	2,100						
	④ 執行率	100.0%	98.5%						
人概工算	① 従事職員数 <small>正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員</small>	0.37 / 0.95	0.36 / 0.95	/	/				
	② 概算人件費	5,620	5,540						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	7,720	7,640							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	スマートシティふくちやま生涯学習市民講座実施事業(きょうと地域連携交付金)	種類	教育費府補助金	実績金額	992	決算附属資料	28	頁
		スマートシティふくちやま生涯学習市民講座実施事業基金繰入(ふるさと創生事業基金)		基金繰入金		1,050		36	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
		概ね満足された人の割合	%	84 / 100	82 / 100	90 / 100	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	講座参加者数	人	200 / 200	230 / 300	184 / 300	/	300
		単位あたりコスト		9.6	9.1	11.4	
	講座開催数	回	30 / 30	25 / 50	39 / 30		
単位あたりコスト			63.9	42.0	70.0		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>すべての市民がICT等による利便性の高い社会の中で、安心・安全に暮らし続けることを目標としている本市のスマートシティ推進計画実現のため不可欠であり、需要も高く、講座申込みは早期に定員に達するなど市民ニーズが高い。</p> <p>令和5年度は、「スマホで調べよう！検索ツールの使い方」、「メルカリで売り買いしよう！ネット通販に挑戦」、「スマホで健康生活」など、生活に役立つ8つのコースから各公民館が3つの講座を選択して実施し、各館各コース定員10名で、延べ184名の方が受講された。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>講座については、現在福知山公立大学情報学部へ委託しており、内容の充実と参加者個々のレベルに合わせた講座となっている。テキストもわかりやすく、参加者の多くが講座内容に満足されている。</p> <p>今後については、このまま大学連携として実施するか、コスト削減の観点から他の事業者も含めた実施方法とすることを検討する。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>コースによっては参加枠を超える受講希望者がある等、市民の生涯学習意欲は高まっている。講師についても、福知山公立大学の学生が行うことにより、地域の人材育成や相互に学びあう場となっている。</p> <p>受講後アンケートの受講者満足度も高く、本市のスマートシティ推進計画実現に向けて有効性は高い。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>すべての市民がICT等による利便性の高い社会の中で、安心・安全に暮らし続けることを目標としている本市のスマートシティ推進計画実現のもと、行っている事業であり、市民ニーズも高く、受講者からも好評を博している講座である。一方、実質的なスキルの上昇について把握、評価できていないことが課題である。また、参加者にスキルの差があり、より効果的な講座とするための方法を考える必要がある。</p>		
改善策	<p>実施方法等、今後の方向性について、デジタル政策推進課と協議した結果、令和6年度以降は、全館共通講座という形ではなく、必要に応じて各地域公民館の一般講座の中で実施する。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	大江地域公民館一般管理事業				事業コード	100502630162		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり		
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり			施策コード	422		
事業担当	所属	60040000 教育委員会 中央公民館			所属長	岸見 貴志		
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費		頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-		R6現在の状況
根拠法令等	社会教育法 福知山市立公民館条例 福知山市立公民館条例施行規則							
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
関連事業	中央公民館及び地域公民館事業							

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	大江地域公民館の適正な管理運営により、快適・安全な施設利用を提供し、地域住民の交流を促進するとともに、生涯学習活動の場として、多くの住民に利用されることを目的とする。							
対象者	大江地域住民を中心とする大江町総合会館利用可能対象者			対象者数	74,704	単位あたりコスト	0.2	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()							
委託先・実施主体等	アムセキュリティサービス株式会社、株式会社西日本エスエスシー、個人							
事業概要 (簡潔書き)	・施設の維持管理運営事業 ・施設の利用予約受付、使用料納付書発行等、安心安全な利用を図るために施設全体の管理運営・施設修繕を行う。 ・災害時においては広域避難所として使用							
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容					
	需用費	1,376	消耗品費、燃料費、光熱水費、施設修繕費(玄関扉修繕、調理室ガスコンロ修繕)					
	役員費	332	共済費、通信運搬費(電話代)ほか					
	委託料	184	機械警備業務、定期清掃業務、消防設備点検及び防火対象物点検業務					
	使用料及び賃借料	219	印刷賃借料、テレビ受信料、土地・建物借上料					
	備品購入費	197	オープンレンジ、ノートパソコン					

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	5,014	2,580	1,936	0			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0	0	0		
		次年度繰越	0	0				
	小計(①～③)	5,014	2,580	1,936	0			
予算財源内訳	① 一般財源	4,932	2,505	1,854	0			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	82	75	82	0			
決算情報	① 流充用額	△ 821	0					
	② 配当予算	4,193	2,580					
	③ 執行額	4,193	2,309					
	④ 執行率	100.0%	89.5%					
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.12 / 0.75	0.09 / 4.05	/	/			
	② 概算人件費	3,060	12,060					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		7,253	14,369					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	大江地域公民館使用料	種類	教育使用料	実績金額	66	10	頁
		自動販売機等電気代等(大江地域公民館)	雑入			13	44	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	公民館利用人数	人	2261 / 6000	3955 / 6000	4364 / 6000	/ 6000	6000
公民館利用件数	件	261 / 500	506 / 500	596 / 500	/ 500	500	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	開館日数	日	239 / 288	294 / 288	292 / 288	/ 288	288
	単位あたりコスト		11.0	14.3	7.9		
	公民館まつりや文化祭等の集客イベントの開催回数	回	0 / 1	25 ¹ / 1	0 / 1		
	単位あたりコスト		0.0	1.7	0.0		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	地域住民の生涯学習の拠点として公民館は必要不可欠であるため、市民が安全で効果的な生涯学習活動ができる施設として適正に維持管理を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	施設の効率的な維持管理を行うため、適正に施設の管理を行った。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	公民館は、地域住民の自主的な学びの場であり、サークル活動など、地域住民が生涯学習を実践する場としての需要が高いため、利用者に支障のないよう施設の維持管理を行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	少子高齢化や地域での住民同士の絆の希薄化等、社会状況が変化の中で生涯学習環境の充実及び整備は、より一層強く求められており、施設の修繕や備品の整備等を計画的に進め、地域住民に快適安全で利便性の高い公共施設を提供してきた。 地域住民に広く利用され地域の拠点とするため、利用者の利便性を図ることにより利用者数を増やしていく必要がある。		
改善策	令和4年度から地域公民館を地域住民のニーズに添うよう、午前中から開館しており、今後も利用者の利便性の向上を図り、公民館の機能向上、市民の生涯学習環境の充実を図っていく。 また、令和5年度よりそれぞれの地域特性に応じた、協働のまちづくりを推進するため、地域公民館機能に加えて、「地域住民センター」としての機能を追加した。今後も住民・民間企業・地域団体・NPOなど多様な主体が利用できるよう、非営利活動以外での使用を可能とし、住民の主体的な地域活動の促進や地域課題に取り組む人材のネットワークの形成等を推進していく。 若い世代の利用促進につなげるため、絵本の読み聞かせや子育て世代向けの講座にも取り組む。 業績指標の活動実績を公民館利用者数の増加に向けた取組として、「地域住民利用者数」から「公民館まつりや文化祭等の集客イベントの開催回数」に見直した。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	市民交流プラザふくちやま管理運営事業					事業コード	100502630167					
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり						
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり			施策コード	422						
事業担当	所属	60040000 教育委員会 中央公民館			所属長	岸見 貴志						
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費		会計	01 一般会計	決算附属資料	234	頁
計画期間	開始年度	平成26年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-		R6現在の状況	継続中			
根拠法令等	市民交流プラザふくちやま条例 福知山市立公民館条例											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	中央公民館一般管理事業 中央公民館及び地域公民館事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	市民交流プラザふくちやまの施設利用者の安全と利便性を確保し、適正で効率的な維持管理運営を行う。											
対象者	市民及び在住・在勤者を中心とした市内外住民不特定多数			対象者数	74,704		単位あたりコスト	0.9				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	オリックス・ファンリティーゼ株式会社											
事業概要 (箇条書き)	市民交流プラザふくちやまの施設にかかる各設備保守点検業務、清掃業務、警備業務、その他の施設維持管理業務 【特財名称】市民交流プラザふくちやま共益費 種類 雑入 実績金額 3,478 決算附属資料 49頁 【特財名称】自動販売機等電気代等(市民交流プラザふくちやま(中央公民館)) 種類 雑入 実績金額 47 決算附属資料 44頁 【特財名称】自動販売機設置貸付収入(地域公民館・市民交流プラザふくちやま) 種類 財産貸付収入 実績金額 1,341 決算附属資料 32頁 【特財名称】電柱等設置占用料(公民館施設) 種類 教育使用料 実績金額 462 決算附属資料 10頁 【特財名称】コピー代 種類 雑入 実績金額 12 決算附属資料 45頁											
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目		支出実績(R5)		主な業務内容							
	需用費		20,885		光熱水費、消耗品費、印刷製本、施設修繕料(視聴覚室壁修繕、交流スペース建具修繕、駐車場料金精算機修繕ほか)							
	役員費		514		共済保険、通信運搬費(郵送料)、ピアノ調律料、ごみ廃棄手数料							
	委託料		39,402		市民交流プラザふくちやま施設管理業務							

III 予算執行状況

区分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	52,412		69,878		65,215		0		
	② 補正予算	10,720		△ 5,000		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
		前年度繰越	0		0		0		0	
	次年度繰越	0		0		0		0		
小計(①~③)		63,132		64,878		65,215		0		
予算財源内訳	① 一般財源	44,530		44,421		43,845		0		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	18,602		20,457		21,370		0		
決算情報	① 流充用額	△ 2,049		△ 1,644						
	② 配当予算	61,083		63,234						
	③ 執行額	61,083		60,801						
	④ 執行率	100.0%		96.2%						
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.34 / 0.50		0.20 / 2.50		/		/		
	② 概算人件費	4,120		8,600						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		65,203		69,401						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	市民交流プラザふくちやま駐車場使用料		種類	総務使用料		5,253		7	
		市民交流プラザふくちやま使用料			総務使用料		6,029		7	
		広告料収入(市民交流プラザふくちやま広告収入)			雑入		234		43	
						決算附属資料		頁		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	市民交流プラザふくちやま利用者数	人	209802 / 423000	273142 / 423000	380360 / 423000	/ 423000	423000
	市民交流プラザふくちやま利用件数	件	2830 / 6400	3926 / 6400	3970 / 6400	/ 6400	6400
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	開館日数	日	290 / 359	359 / 359	360 / 359	/ 359	359
	単位あたりコスト		194.1	170.1	168.9		
	単位あたりコスト		/	27 /	/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	駅前のランドマークとして市外、府外の利用者も多く、コミュニティづくり、憩いの場として目的に応じた機能を果たし、安全安心で快適な公共施設として提供できるよう施設の適正な維持管理を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	府施設予約システムを導入し(R2.10)、利用者の利便性向上、事務効率化に努めている。また、施設の効率的な維持管理を行うため、適正に施設の管理を行った。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	令和5年度の施設利用者数は、新型コロナウイルス感染症感染防止対策の制限が緩和されたことから、コロナ禍前の水準に戻りつつある状況である。適正な維持管理により、安心安全に、また快適に利用が図られている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	少子高齢化や地域での住民同士の絆の希薄化等、社会状況が変化の中で生涯学習環境の充実及び整備は、より一層強く求められており、施設の修繕や備品の整備等を計画的に進め、地域住民に快適安全で利便性の高い公共施設を提供してきた。今後、利用者の利便性の向上を目指して、計画的に施設整備を行う。		
改善策	計画的に施設整備の改修等を行い利用者の利便性の向上を図る。 令和5年度、令和6年度で市民交流プラザふくちやま館内照明のLED化を進める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	中央公民館及び地域公民館事業				事業コード	100502630263		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり		
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり			施策コード	422		
事業担当	所属	60040000 教育委員会 中央公民館			所属長	岸見 貴志		
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費		頁
計画期間	開始年度	昭和47年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-		R6現在の状況
根拠法令等	社会教育法 福知山市立公民館条例 福知山市立公民館条例施行規則							
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
関連事業	各地域公民館一般管理事業							

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	「つどい」「まなぶ」「むすぶ」という公民館の目的に添った生涯学習講座等を開催し、地域住民の主体的な学習活動を促進することにより、活動を通じた人と人、地域の絆を深め、地域社会への貢献やコミュニティづくりへの意識を高めていく。また、入づくり・地域づくりを担う人材の育成につなげていく。							
対象者	中央公民館及び地域公民館等利用可能対象者	対象者数	74,704	単位あたりコスト	0.4			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()							
委託先・実施主体等	舞台照明CREW・SOLOOK、有限会社人形劇団クラルテ							
事業概要 (箇条書き)	子どもから高齢者までが学ぶ多様な生涯学習講座、新たな公民館利用者につながる講座等を実施し、公民館利用者増加につなげていく。 講師は地域の人材をできるかぎり発掘し活用する。 地域の特性を活かした講座内容(地元の歴史を学ぶ、地元の食材を使った調理教室等)、地域のニーズ、時代のニーズに応じた講座内容(スマホ講座、防災講座等)を工夫する。 学校や関係機関と連携し世代間交流、次世代の育成を目的とした講座を実施する。							
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容					
	報償費、旅費	2,760	講座講師謝礼、会議等旅費					
	需用費	316	講座用消耗品					
	役員費	76	通信運搬費(郵送料)					
	委託料、使用料及び賃借料	597	市立公民館10館合同イベント業務委託、照明・音響等業務委託、三段池総合体育館使用料					
備品購入費	97	カラーインクジェットプリンター、スクエアポッチャ、デジタルカメラ						

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	5,646	4,417	3,932	0	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0	0	0
		次年度繰越	0	0	0	0
	小計(①~③)	5,646	4,417	3,932	0	
予算財源内訳	① 一般財源	5,646	4,417	3,932	0	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 298	0			
	② 配当予算	5,348	4,417			
	③ 執行額	5,348	3,846			
	④ 執行率	100.0%	87.1%			
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.25 / 10.65	0.19 / 7.80	/	/	
	② 概算人件費	31,820	23,360			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	37,168	27,206				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算附属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	一般講座参加者数	人	3947 / 5600	7615 / 5600	5753 / 8000	/ 8000	8000
講座参加者満足度	点	4.63 / 5	4.34 / 5	4.45 / 5	/ 5	5	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	一般講座の回数	回	296 / 400	492 / 400	469 / 520	/ 520	520
	単位あたりコスト		8.6	10.9	8.2		
	単位あたりコスト		/	29 /	/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	多様な生涯学習機会を提供し、学習活動を通じて地域課題解決につなげていく力を培う意義の高いものである。社会教育法に基づき設置した施設であり、市の負担が妥当である。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	講座や教室については、地域コミュニティづくりを推進していく観点から、材料費のみを参加者負担で実施しているが、今後、受益者負担についても検討する必要がある。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	参加枠を超える受講希望者がある等、市民の生涯学習意欲は高まっている。講師についても、学生から高齢者までの地域住民を活用することにより、地域の人材育成や相互に学びあう場となるよう取り組んでいる。各講座参加者にアンケート(年代、参加経験、満足度、講座認知等、各館共通の項目)を実施し、利用者ニーズの把握に努めている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	多様な生涯学習講座を開催し、きっかけ作りをし、参加を促すことで自己実現、仲間づくり、世代間交流等が図られるとともに地域の絆が育まれている。住民の学習意欲も高まっており、小学校区で組織されている地区公民館と連携し、住民交流や人材育成のために欠かせない場所となっている。令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止せざるを得なかった講座もあったが、感染防止対策を参加者にも協力いただく中で実施した。令和4年度は、「まちづくり構想 福知山」を具現化することを目的として、生涯学習講座の特別枠として、「まちづくり担い手育成講座」、「防災講座」等の講座を実施したほか、市立公民館10館合同では初となる子育て世代を対象としたイベントを企画・開催した。令和5年度についても市立公民館10館合同イベントを継続して開催した。各講座参加者には、公民館共通した項目を設定したアンケートを継続し、利用者ニーズの把握に努めた。社会情勢の変化に伴い、これまで以上に地域コミュニティづくりや地域課題解決に必要な学習を盛り込んだ生涯学習講座を実施していく必要がある。		
改善策	公民館の主催する生涯学習講座を通して、高齢社会、安心安全、環境問題等、地域課題に対応した学習活動や情報提供を行い、地域住民の主体的な地域づくりや学習活動の促進に努める。令和4年度から地域公民館を地域住民のニーズに添うよう、午前中から開館しており、今後も利用者の利便性の向上を図り、公民館の機能向上、市民の生涯学習環境の充実を図っていく。一般講座参加者数の現状に応じて、令和5年度から成果実績及び活動実績の最終目標の数値を見直した。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	資料収集整理事業					事業コード	100503630301				
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち				政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり				
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり				施策コード	422				
事業担当	所属	60050000 教育委員会 図書館				所属長	山路 智子				
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 図書館費	会計	01 一般会計	決算附属資料	235	頁
計画期間	開始年度	昭和21年度	終了予定年度	令和7年度	関連計画名	第3次福知山市子どもの読書活動推進計画			R6現在の状況	継続中	
根拠法令等	図書館法、福知山市立図書館条例										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	中央館運営事業、佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業、図書館電子書籍貸出サービス事業、分館運営事業(三和・夜久野・大江) ほか										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	資料の収集は図書館の根幹であり、資料収集方針に則り、幅広い分野から計画的に図書を購入・所蔵し、利用者の学習意欲や知る権利を満たす。特に子どもの読書活動推進計画に沿って、絵本や児童書を充実させ、子どもたちがより読書に親しめる環境づくりを促進する。郷土資料など地域の情報を整理保存して「地域の情報ステーション」となるとともに、通勤・通学・商業の拠点として三たん地域の住民の需要に応える蔵書を確保し、図書館利用による集客を促進する。										
対象者	福知山市民(在住、在学、在勤)・三たん地域在住者	対象者数	650,085	単位あたりコスト	0.1						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	(株)図書館流通センター、ナカバヤシ(株)大阪本社										
事業概要 (箇条書き)	・中央館及び三和、夜久野、大江分館の地域に根ざした特色ある図書館づくりを進めるため、地域の情報、保存すべき資料、閲覧・貸出ニーズの高い資料を中心に、幅広い分野から計画的に図書を購入・所蔵する。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容								
	備品購入費	12,189	閲覧用図書購入								
	需用費	2,955	雑誌購入費、新聞購読料								
	委託料	1,374	書誌データ・ICタグ作成業務委託料								
	使用料及び賃借料	746	法令オンラインデータベース賃借、新聞記事オンラインデータベース賃借等								

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	17,236	16,948	16,107	0			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0				
	次年度繰越	0	0					
小計(①～③)	17,236	16,948	16,107	0				
予算財源内訳	① 一般財源	11,536	11,248	10,407	0			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	5,700	5,700	5,700	0			
決算情報	① 流充用額	0	316					
	② 配当予算	17,236	17,264					
	③ 執行額	17,111	17,264					
	④ 執行率	99.3%	100.0%					
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.63 / 1.82	0.91 / 7.23	/	/			
	② 概算人件費	10,136	27,524					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	27,247	44,788						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	佐藤八重子記念子ども読書活動振興事業基金繰入(佐藤八重子記念子ども読書活動振興基金)	種類	基金繰入金	実績金額	4,385	38	頁
		弁償金(図書館資料)	弁償金		2	決算附属資料	42	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	年間来館者数(全館)	人	128882 / 330000	156356 / 330000	257884 / 220000	/ 220000	220000
	実利用人数(貸出人数)	人	9742 / 12200	9855 / 12200	9966 / 12200	/ 12200	12200
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	年間資料貸出冊数(全館)	冊	475065 / 600000	499451 / 600000	486186 / 520000	/ 520000	520000
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0		
	蔵書点数(全館 寄贈受入含む)	点	328237 / 315000	342232 / 315000	349821 / 315000	/ 315000	資料収集整理事業 315000
単位あたりコスト		0.1	0.0	0.0			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>情報収集・発信の役割及び様々な資料の保存場所として、長年にわたり市民や社会のニーズに応えてきており、今後も豊富な資料を備えて、その役割を果たすことは必要である。より魅力的な図書館を目指すために、新鮮で豊富な資料が必要であり、蔵書や利用状況を見ながら計画的に収集していくことで、多くの市民に利用いただけるものとする。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>図書購入は、毎年入札により契約しており、最も効率よく低コストで購入できている。図書の新規購入以外に、市内の分館や京都府内の図書館との相互貸借制度を活用し、本を相互に流通させて有効活用している。利用促進に向けて、タイムリーな話題や工夫を凝らした特集展示を実施している。特集展示などについて、新聞社へ積極的に広報を行い、効率的に図書資料のアピールを進めることができた。庁内・庁外の機関と連携した各種展示を図書館内で行うことにより、図書館利用者数の増加を図った。雑誌スポンサー制度の導入により、府内No.1の雑誌の寄贈数があり、コストを削減できた。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>来館者数は新型コロナウイルス感染拡大前よりも高い水準に戻っている。しかし、貸出冊数については、減少傾向である。実利用者数に大きな変動はないため、個人の貸出冊数が減少している。市外利用者については依然、高い水準で利用が継続している。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>本事業は図書館の本質にかかわる事業であり、蔵書の充実度や構成は指標(来館者数・貸出冊数)に確実に影響する。しかし影響は即座に現れず数年程度の遅れがあると思われる。新中央館の新館効果と書架の大幅な拡大により利用者が増えたが、基本的に図書館の利用は人口減少に伴い減少するものであり、本図書館も減少傾向にある。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、大幅に利用者が減ったが、来館者はコロナ以前よりも高い水準に戻っている。貸出冊数が伸び悩んでいるが、実利用者数に大きな変動がないため、電子書籍とリアルな書籍の併用が浸透しているのではと考える。三たん地域の住民による利用者は他市と比較すると非常に多く、通勤・通学・買い物などで本市を訪れる方の集客に一定の効果認められる。</p>		
改善策	<p>新規利用者及び図書館への来館者が増えるよう、市内各種イベントと連携した企画、展示などにさらに取組、情報発信を継続して取り組む。さらに有効で保存価値のある資料、地域や世の中の流れに沿ったニーズの高い資料をタイムリーに提供するなど、利用者の多様なニーズに応える蔵書を構成する。また、今後もバリエーションサービスの充実、郷土資料を魅力的に収集・整理し、地域情報としての機能を強化する。来館者が適切な資料を探し当てられるよう、レファレンス機能の充実など職員の資質向上に努め、お客様サービスの向上を図る。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	中央館運営事業				事業コード	100503630302					
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり					
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり			施策コード	422					
事業担当	所属	60050000 教育委員会 図書館			所属長	山路 智子					
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 図書館費	会計	01 一般会計	決算附属資料	235・236	頁
計画期間	開始年度	昭和21年度	終了予定年度	令和5年度	関連計画名	第3次福知山市子どもの読書活動推進計画		R6現在の状況	他事業へ統合		
根拠法令等	図書館法、福知山市立図書館条例										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	資料収集整理事業、分館運営事業(三和・夜久野・大江)、佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業、図書館電子書籍貸出サービス事業他										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	図書、記録その他必要な資料を収集・整理・保存して、利用者に提供し、その教育・調査・研究・レクリエーション等に資することを目的とし設置している公立図書館として、それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場とする。										
対象者	福知山市民(在住、在学、在勤)・三たん地域在住者			対象者数	650,085		単位あたりコスト	0.1			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	(社)福知山市シルバー人材センター、NECネクサソリューションズ(株)関西支社、日本ファイリング(株)大阪支店										
事業概要 (箇条書き)	・図書館機能を充実し、利用者がよりよく課題を解決するための利用や、主体的な学習活動・読書活動の充実を図るため、積極的な情報提供・情報発信や啓発を行うとともに、利用者ニーズの把握や利用環境の整備に努める。 ・関係機関・関係団体と連携し、北近畿の中核となる図書館サービスの充実に努める。										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)		主な業務内容							
	委託料	5,298		電子計算機等保守管理業務、移動図書館巡回及び配本業務委託、その他機械設備等保守管理業務							
	使用料及び賃借料	3,857		複写機使用料、その他機器等借上料							
	需用費	3,621		消耗品費、修繕料、燃料費、印刷製本費							
	役務費	681		通信運搬費、手数料、保険料							
	報酬、備品購入費、公録費、旅費、負担金補助及び交付金	488		委員報酬、庁用備品、自動車重量税、旅費、負担金							

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	42,570	13,273	0	0			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0				
	次年度繰越	0	0					
小計(①～③)	42,570	13,273	0	0				
予算財源内訳	① 一般財源	42,423	13,126	0	0			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	147	147	0	0			
決算情報	① 流充用額	△ 484	672					
	② 配当予算	42,086	13,945					
	③ 執行額	40,393	13,945					
	④ 執行率	96.0%	100.0%					
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	4.05 / 2.34	3.80 / 15.75	/	/			
	② 概算人件費	38,952	74,500					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	79,345	88,445						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	コピー代(図書館)	種類	雑入	実績金額	52	45	頁
		利用券再交付料		雑入		66	46	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	年間来館者数	人	109987 / 302300	136930 / 302300	237710 / 196000	/	196000
	実利用人数(貸出人数)	人	9742 / 12200	9855 / 12200	9966 / 12200	/	12200
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	年間資料貸出冊数	冊	420788 / 539000	445598 / 539000	436800 / 461000	/	461000
	単位あたりコスト		0.1	0.1	0.0		
			/	33 /	/	/	中央館運営事業
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>公立図書館は、図書館法に規定された利用者の教育と文化の発展に寄与することを目的として設置している社会教育施設であり、その必要性は高い。</p> <p>また、利用に対するいかなる対価も徴収してはならないと規定されている公立図書館が果たす社会的役割は大きく、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、利用者の教養、調査研究、レクリエーション等に資するための施設として、政策目標である「それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり」の取組を進めるべく運営に取組んでいる。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>公立図書館は、その利用者に対価を求めることを前提としない社会教育施設であり、受益負担の概念にはなじまない。</p> <p>ただし、限られた予算の中で必要な又は必要とされる資料を収集するため、本来定価である図書の入札契約による購入、分館や市外他館との相互貸借の取組により、コストの削減や効率化に向けて取組んでいる。</p> <p>既存の蔵書を活用し、「暮らしに読書を、おうえん貸出セット」にハーフセットを追加するなど、図書館資料の有効活用を図った。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>新中央館の新館効果が薄れて定着期に入ったこと、新型コロナウイルス感染予防のため来館を控える利用者はあるものの、ここ数年減少をしていた各指標の数値は、前年度を上回り回復傾向に転じている。</p> <p>新たな利用者を図書館に呼び込むため、行政機関の啓発展示を募集し、関連本を紹介するコラボ企画の取組や広報ふくちやまによる各種事業などの紹介を実施し、一定の成果を上げており、今後においても継続的な取組を行う。</p> <p>従来の来館型の図書館方式と非来館型である電子図書館とを併用したハイブリッド図書館として利用者の生涯学習に寄与する取組を進めていく。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>地域の情報収集や知識習得の場として中央館は欠かせないものであり、今後も引き続き、特色のある図書館づくりを進めるとともに、利用者にとってよりよい図書館となるよう、利用者のニーズを把握しこれに応えていくことが大切であると考える。</p> <p>また、福知山公立大学、北部7市町図書館、丹波市・朝来市との3市図書館連携、福知山産業支援センターや京都ジョブパーク等の外部機関との連携による利用者サービスの充実が評価できるものである。</p> <p>さらに、新たな利用者を図書館に呼び込むための様々な取組の実施と広報により、図書館の認知を広めていることは評価できる。</p>		
改善策	<p>住民の知る自由を保障することは、公立図書館の重要な責務である。この責務を果たすため、職員研修を定期的に行うとともに、外部研修を受講することで専門性を高め、地域の情報ステーションとして質の高い図書館サービスを提供する。</p> <p>図書館利用者増加に向けて、新規利用者を図書館に呼び込むための取組の実施と情報発信を、今後も継続実施する。</p> <p>令和2年度に開始した「図書館宅配サービス」や、「暮らしに読書を、おうえん貸出セット」、令和3年度に開始した「電子書籍貸出サービス事業」などの新サービスの提供により、図書館資料を活用する住民の選択肢も増えており、利用者にとってよりよい図書館となるよう、利用者のニーズに寄り添ったサービスの提供に努めていくことが必要である。</p> <p>令和6年度予算から「630302中央館運営事業」「630303三和分館運営事業」「630304夜久野分館運営事業」「630305大江分館運営事業」の4事業を統合し、「630349図書館運営事業」に名称を変更した。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	三和分館運営事業				事業コード	100503630303					
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり					
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり				施策コード	422				
事業担当	所属	60050000 教育委員会 図書館			所属長	山路 智子					
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 図書館費	会計	01 一般会計	決算附属資料	236	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和5年度	関連計画名	第3次福知山市子どもの読書活動推進計画		R6現在の状況	他事業へ統合		
根拠法令等	図書館法、福知山市立図書館条例										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	三和分館移転改修事業、資料収集整理事業、中央館運営事業、分館運営事業(夜久野・大江)、佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業 ほか										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	公立図書館として、図書館三和分館において安定した図書サービスを提供し、市民にとって地域の情報収集や知識習得の場として、魅力ある図書館として運営することを目的とする。 図書館サービスの充実・向上を目指し、利用者がよりよく課題を解決するための利用や、主体的な学習活動・読書活動の充実を図るため、利用者ニーズの把握や利用環境の整備に努める。より多くの方に利用していただくため、積極的な情報提供・情報発信や啓発を行うとともに、関係機関・関係団体と連携し、地域の拠点施設としての図書館サービスの拡充を図る。										
対象者	福知山市民(在住、在学、在勤)・三たん地域在住者	対象者数	650,085	単位あたりコスト	0.0						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	・「子育てにやさしい図書館」をコンセプトに三和支所2階へ移転オープンしたことで、広くゆったりとしたスペースが確保でき、滞在型図書館として広く周知していく。 ・地域性を生かした子育て世代をターゲットにした取組を行う。 ・すべての人が本と出会える場を提供するため、関係機関と連携をはかりながら、地域人材を活用したイベントや講座を実施する。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容								
	役員費	149	通信運搬費								
	使用料及び賃借料	82	複写機使用料								
	需用費	80	消耗品費								

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	2,220	310	0	0	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0	0	0
		次年度繰越	0	0		
	小計(①~③)	2,220	310	0	0	
予算財源内訳	① 一般財源	2,220	310	0	0	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	295	4			
	② 配当予算	2,515	314			
	③ 執行額	2,492	311			
	④ 執行率	99.1%	99.0%			
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.12 / 0.60	0.13 / 0.89	/	/	
	② 概算人件費	2,640	3,532			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,132	3,843				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算附属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	年間来館者数	人	5222 / 5500	5420 / 5500	5732 / 7000	/	7000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	年間資料貸出冊数	冊	16231 / 15000	16143 / 15000	14343 / 17000	/	17000
	単位あたりコスト		0.1	0.2	0.0		
	単位あたりコスト		/	35 /	/	/	三和分館運営事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 移転開館準備での休館期間において、移動図書館車を臨時運行するなど貸出を行った。 休館前に来館者や地元の子どもたちにワークショップの作品を呼びかけ、移転開館に合わせて展示を行った。 	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の防災無線や三和地域協議会広報誌を活用し、移転開館やイベントの周知を行った。 自然科学協力員の協力のもと、新たな取り組みとしてわくわくスタディを開催した。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 三和分館独自の取り組みとして、三和地域協議会共催のブックカフェを開催し、新たな利用者の獲得に努めた。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 地域の情報収集や知識習得の場として、三和分館は欠かせないものであり、今後も引き続き、分館の特色を生かした図書館づくりを進めるとともに、利用者にとってよりよい図書館となるよう、利用者ニーズを把握し、それに応えていくことが大切であるとする。 三和地域の教育の拠点施設として、関係機関と連携しながら、教育の拠点施設としての役割を果たしていく。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 三和分館独自のイベントである「わくわくスタディ」や「ブックカフェ」は関係機関との連携により実施することで効率的に実施することができた。継続実施していく。 三和支所へ移転したことと合わせて、「子育てにやさしい図書館」として広く周知し、利用者の増加につなげていく。 <p>令和6年度予算から「630302中央館運営事業」「630303三和分館運営事業」「630304夜久野分館運営事業」「630305大江分館運営事業」の4事業を統合し、「630349図書館運営事業」に名称を変更した。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>公立図書館は、図書館法に規定された利用者の教育と文化の発展に寄与することを目的として設置している社会教育施設であり、その必要性は高い。</p> <p>また、利用に対するいかなる対価も徴収してはならないと規定されている公立図書館が果たす社会的役割は大きく、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、利用者の教養、調査研究、レクリエーション等に資するための施設として、政策目標である「それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり」の取組を進めるべく運営に取組んでいる。</p>	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>公立図書館は、その利用者に対価を求めることを前提としない社会教育施設であり、受益負担の概念にはなじまない。</p> <p>ただし、限られた予算の中で必要な又は必要とされる資料を収集するため、本来定価である図書の入札契約による購入、分館や市外他館との相互貸借の取組により、コストの削減や効率化に向けて取組んでいる。</p> <p>分館と中央館との間で資料相互活用による有効活用の取組の強化に取組んでいる。</p>	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>長期化した新型コロナウイルス感染症の影響により減少した、来館者数・貸出冊数を回復させていく取組が必要である。</p> <p>新年特別企画である「本の福袋」の貸出しや公民館まつりでのリサイクル市の実施など、地域住民に興味を持ってもらえるよう、分館独自の取組を実施している。</p> <p>ボランティア団体の協力を得て「おはなし会スペシャル」や「大人のためのおはなし会」を実施している。</p>	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>地域の情報収集や知識習得の場として、夜久野分館は欠かせないものであり、今後も引き続き、分館の特色を生かした図書館づくりを進めるとともに、利用者にとってよりよい図書館となるよう、利用者ニーズを把握し、それに応えていくことが大切であると考えます。また、新型コロナウイルス感染症の流行により、減少した来館者数や貸出冊数を回復させていくことが課題である。</p>		
改善策	<p>夜久野分館独自のイベントである「本の福袋」や「大人のためのおはなし会」は好評であり、一定の集客効果が得られているため継続実施する。利用者の興味を引きつけるための特集展示を行うなど、地域住民に寄り添った図書館として、より多くの利用者に来館いただき、利用者の読書活動の推進が図れるよう努める。また、来館者数や貸出冊数を回復させるため、図書館ホームページにおいて各月の特集展示コーナーの紹介のやおはなし会の充実など、来館しやすい、来館したいと思われよう取組を進める。</p> <p>令和6年度予算から「630302中央館運営事業」「630303三和分館運営事業」「630304夜久野分館運営事業」「630305大江分館運営事業」の4事業を統合し、「630349図書館運営事業」に名称を変更した。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	大江分館運営事業				事業コード	100503630305					
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり					
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり				施策コード	422				
事業担当	所属	60050000 教育委員会 図書館			所属長	山路 智子					
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 図書館費	会計	01 一般会計	決算附属資料	236・237	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和5年度	関連計画名	第3次福知山市子どもの読書活動推進計画		R6現在の状況	他事業へ統合		
根拠法令等	図書館法、福知山市立図書館条例										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	資料収集整理事業、中央館運営事業、分館運営事業(三和・夜久野)、佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業、図書館電子書籍貸出サービス事業他										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	市民が生涯にわたって行う様々な学習活動を支援するため、豊富な資料や情報の収集を行い、市民がいつでも、どこでも求める資料と情報が得られるよう図書館機能の充実を図るとともに、市民の自主的、自発的な学習活動を支援する学びの場の提供に努める。										
対象者	福知山市民(在住、在学、在勤)・三たん地域在住者			対象者数	650,085	単位あたりコスト	0.0				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	・図書館サービスの充実・向上をめざし、利用者の主体的な学習・読書活動の充実を図るとともに、利用者ニーズの把握や利用環境の整備に努める。 ・より多くの方に利用いただけるよう積極的な情報提供・情報発信を行うとともに、関係機関・関係団体と連携し、地域の拠点施設として図書館サービスの継続を図る。										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容								
	役務費	99	通信運搬費								
	使用料及び賃借料	80	複写機使用料								
	需用費	39	消耗品費								

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	2,427	250	0	0	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0	0	0
		次年度繰越	0	0		
	小計(①～③)	2,427	250	0	0	
予算財源内訳	① 一般財源	2,427	250	0	0	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	48	△ 31			
	② 配当予算	2,475	219			
	③ 執行額	2,418	218			
	④ 執行率	97.7%	99.5%			
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.14 / 0.75	0.10 / 2.89	/	/	
	② 概算人件費	3,220	8,892			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,638	9,110				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算附属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標	
	年間来館者数	人	5476 / 7700	5888 / 7700	5400 / 6000	/	—	6000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標	
	年間資料貸出冊数	冊	17929 / 20000	17784 / 20000	14447 / 18000	/	—	18000
	単位あたりコスト		0.1	0.1	0.0			
	単位あたりコスト		/	39 /	/	/		大江分館運営事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>公立図書館は、図書館法に規定された利用者の教育と文化の発展に寄与することを目的として設置している社会教育施設であり、その必要性は高い。</p> <p>また、利用に対するいかなる対価も徴収してはならないと規定されている公立図書館が果たす社会的役割は大きく、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、利用者の教養、調査研究、レクリエーション等に資するための施設として、政策目標である「それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり」の取組を進めるべく運営に取組んでいる。</p>	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>公立図書館は、その利用者に対価を求めることを前提としない社会教育施設であり、受益負担の概念にはなじまない。</p> <p>ただし、限られた予算の中で必要な又は必要とされる資料を収集するため、本来定価である図書の入札契約による購入、分館や市外他館との相互貸借の取組により、コストの削減や効率化に向けて取組んでいる。</p> <p>分館と中央館との間で資料相互活用による有効活用の取組の強化に取組んでいる。</p>	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>鬼に特化した図書館をめざし、鬼・妖怪に関する資料収集整理を行っている。また、大江地域の情報発信として、「北丹鉄道100周年」「鬼鬼祭り 3つの鬼伝説」などの企画展示や毎月のおはなし会のほかに、大雲記念館や地域のイベントに出向いてのおはなし会を行うなど、地域に根ざした活動を行った。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>鬼・妖怪に関する資料を収集整理しており、地域を超えた鬼の情報拠点をめざしている。また、地域住民にとっての情報収集の場となるように努めている。課題としては、災害により2階に移転したのはよいが、敷地面積が狭く、蔵書数が13,000冊と分館の中でも極端に少なくなっており、棚が所狭しと並んでおり、くつろぐ雰囲気をつくることできない。</p>		
改善策	<p>現在の場所は浸水被害対策として、また、図書館にふさわしい場所として検討を重ねた結果として、平成31年4月にリニューアルオープンした経緯があり、大江支所周辺施設においては、他に適している場所は見当たらない状況である。今後においても鬼・妖怪に関する資料の収集に努め、独自性を出すと共に、地域に根ざした図書館として、利用者の意見を反映させつつ、生涯を通じた学びの場として運営する。</p> <p>令和6年度予算から「630302中央館運営事業」「630303三和分館運営事業」「630304夜久野分館運営事業」「630305大江分館運営事業」の4事業を統合し、「630349図書館運営事業」に名称を変更した。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業					事業コード	100503630308				
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり					
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり			施策コード	422					
事業担当	所属	60050000 教育委員会 図書館			所属長	山路 智子					
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 図書館費	会計	01 一般会計	決算附属資料	237	頁
計画期間	開始年度	平成3年度	終了予定年度	令和7年度	関連計画名	第3次福知山市子どもの読書活動推進計画			R6現在の状況	継続中	
根拠法令等	図書館法、福知山市立図書館条例										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	資料収集整理事業、中央館運営事業、分館運営事業(三和・夜久野・大江)、図書館電子書籍貸出サービス事業 ほか										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	読書活動の普及・図書館活動への理解と利用促進につなげるため、講座・講演会・研修会等の事業を実施することで、すべての市民に読書の楽しみを届け、学習機会を提供する。具体的には、図書館読書ボランティアと連携しながら、出張おはなし会やワークショップ、大人向けの読み聞かせについての講演会や研修会などを開催する。										
対象者	乳児から大人まで	対象者数	77,000	単位あたりコスト	0.3						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	・各世代向けのおはなし会や出張おはなし会、ワークショップ、ブックトーク等の実施 ・ボランティア養成講座や講演会、研修会の実施 ・ブックスタート事業での絵本のプレゼントと健診時での集団読みかせ、ボランティアによるブックスタート読みかせ体験の実施 ・対面読書サービス										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容								
	需用費	599	ブックスタートプレゼント絵本等								
	報償費	238	読みかせ体験事業報償費・講演会・講座等講師謝礼								
	旅費	18	講師旅費								
	役務費	9	保険料								

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	1,192	1,225	1,029	0			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0	0	0		
		次年度繰越	0	0				
	小計(①～③)	1,192	1,225	1,029	0			
予算財源内訳	① 一般財源	80	48	0	0			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	1,112	1,177	1,029	0			
決算情報	① 流充用額	△ 41	△ 360					
	② 配当予算	1,151	865					
	③ 執行額	849	865					
	④ 執行率	73.8%	100.0%					
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.74 / 1.09	0.99 / 4.87	/	/			
	② 概算人件費	8,972	21,556					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	9,821	22,421						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	佐藤八重子記念子ども読書活動振興事業基金繰入(佐藤八重子記念子ども読書活動振興基金)	種類	基金繰入金	実績金額	797	38	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	保護者による10か月児への読みかせ実施率	%	— / 90	— / 90	91 / 90	/ 90	90%以上
図書館の児童書・絵本貸出冊数	冊	258255 / 284315	273709 / 271168	266136 / 287394	/ 279442	前年比5%増	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	おはなし会等実施回数	回	57 / 180	90 / 180	135 / 180	/ 180	180
	単位あたりコスト		12.6	9.4	6.4		
	単位あたりコスト		/	41 /	/	佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> すべての人が本と出会い、読書の推進を図るため、各世代に応じた取組が必要。 ブックスタートにおける乳幼児期の読みかせは言葉の発達や情緒の安定を図るため、重要であり、健診時での集団での読みかせ、ブックスタート読みかせ体験を実施。また、3年ぶりに妊婦教室で読みかせの啓発を行った。 バリアフリーサービスとして、新たにZOOMIによる対面読書サービスを実施した。 	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 読書ボランティアを登録制にし、新規登録者を募った。また、ボランティア養成講座を実施し、新たな人材の育成を行った。 第3次福知山市子どもの読書活動推進計画にもとづき、図書館職員による本紹介冊子を作成した。 図書教諭と学校司書との合同研修会を実施し、学校図書運営について共有することができた。 	<input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 出張おはなし会など、図書館職員が出向がなくてもボランティアを派遣することができた。 貸出セットに新たにミニセットと拡大貸出を作成し、利用者のニーズに合わせてきめ細かいサービスを実施。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動支援事業により、読書ボランティアを登録制とし、活動支援として図書カードを交付、図書館研修室の利用、ボランティア保険の加入を行い、ボランティアと連携しながら取り組むことができた。出張おはなし会の依頼が多様になってきており、さまざまな要望に応えていくための見直しが必要である。 団体利用促進のため、団体用具貸出、小中学校の利用券の見直しを行った。 新たに作成した、貸出セットの書影付きリスト、人権ブックリストの周知、ZOOMIによる対面読書サービスの周知などを積極的に行い、利用促進につなげる。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアの範疇を超えるような大規模イベントでのおはなし会や同じ団体からレポートなどさまざまな要望に応えるため、依頼者が直接読みかせ団体に依頼することができるリストを作成し、幅広いニーズにこたえていく。 団体利用促進のため、団体専用資料の利用方法を見直した。 学校の利用促進を図るため、利用券がなくても貸出ができる方法に見直し、ブックリストや貸出セットの利用促進につなげる。 令和6年度の100周年記念事業を機に、新しい制度や変更点などを広く周知し、読書活動の推進を図る。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	図書館システム機器等更新事業					事業コード	100503630314				
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち				政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり				
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり				施策コード	422				
事業担当	所属	60050000 教育委員会 図書館				所属長	山路 智子				
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 図書館費	会計	01 一般会計	決算附属資料	237	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R6現在の状況	継続中	
根拠法令等	図書館法、福知山市立図書館条例										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	資料収集整理事業、中央館運営事業、佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業、図書館電子書籍貸出サービス事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	市民が生涯にわたって行う様々な学習活動を支援するためには、豊富な資料や情報の収集に加え、市民への適切な提供の場が必要である。市民がいつでも、どこでも求める資料と情報が得られるよう、図書館の業務全般に対応する図書館システムの整備・充実を図る。図書館内に設置している機器は、故障時に必要な部品調達が難しくなっており、定期的な機器の更新を行うことで、図書館利用者に対する安定的なサービスの提供を行う。具体的には、セキュリティゲートや自動貸出機、図書館システム端末及び周辺機器を更新し、システムトラブルなく図書館運営が円滑に行える体制を整える。										
対象者	福知山市民(在住、在学、在勤)・三たん地域在住者	対象者数	650,085	単位あたりコスト	0.0						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	NECネクスソリューションズ(株)関西支社、日本ファイリング(株)大阪支店、(株)足立金属										
事業概要 (箇条書き)	・平成26年の中央館新館オープン時に設置したパソコン及び周辺機器は、5年の保守期間を既に経過しているため、機器の更新を行う。 ・自動化書庫の部品を計画的に交換することにより、自動化書庫の長寿命化を図る。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容								
	備品購入費	16,280	PC端末31台(カウンター8台、事務用9台、OPAC6台、利用者用8台)								
	委託料	1,860	図書館中央館自動化書庫部品取替修繕業務、図書館HPデータ移行業務、図書館機器廃棄業務								
	需用費	89	NAS購入、HDD購入(分館用)								

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	32,251	18,700	27,829	0				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0	0	0			
		次年度繰越	0	0	0	0			
	小計(①~③)	32,251	18,700	27,829	0				
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	32,251	18,700	27,829	0				
決算情報	① 流充用額	0	△ 471						
	② 配当予算	32,251	18,229						
	③ 執行額	31,490	18,229						
	④ 執行率	97.6%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.28 / 0.10	0.27 / 0.00	/	/				
	② 概算人件費	2,520	2,160						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	34,010	20,389							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	図書館システム機器等更新事業基金繰入(ふるさと納税基金)	種類	基金繰入金	実績金額	18,229	決算附属資料	40	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
		更新作業に伴う障害発生件数	回	0 / 0	0 / 0	0 / 0	/ 0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	システム機器の更新	台	9 / 89	39 / 89	84 / 89	/ 89	89
	単位あたりコスト		573.4	807.4	217.0		
	単位あたりコスト		/	43 /	/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>市民が生涯にわたって行う様々な学習活動を支援するためには、豊富な資料や情報収集に加え、市民への適切な提供の場として図書館の必要性は高まっている。図書館システム及び自動化書庫は、あらゆる図書館業務で利用されており、システムが使えなくなることは図書館運営自体が停止することになり、利用者に多大な迷惑をかけることとなる。図書館運営の根幹となるシステムの安定化は最優先で取り組む必要がある。</p>	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>機器設定業務はシステムベンダーでないと履行できないため、随意契約としたが、庁内アドバイザーから意見を聴き、業務内容を精査して、必要最小限の経費となるよう相手方と交渉してコスト削減を図る。自動化書庫管理機と関連機器の更新業務にあわせて、システム周辺機器の購入と設定作業を一括で行うことで、機器の保守管理を含め、費用を抑え、また、全ての作業を蔵書点検に伴う定例の休館日に行うことで、図書館利用者に安定的なサービスの提供を行う計画をしている。</p>	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>事業目的は予定通り履行されており、更新作業に伴う障害発生もなく、成果目標も実績も適切であると考え。若干更新できていない部分もあるため、今後更新が必要なものも含めた新たな計画が必要である。</p>	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>保守期間を既に経過した図書館システムに係るPC端末、レシートプリンター、プリンター、NASの更新を行った。また、自動化書庫の機器の部品を計画的に交換することにより、自動化書庫の長寿命化を図った。全ての工事を定例の図書館休館日に行うことで、図書館利用者に安定的にサービスを提供できた。これにより、PC端末についてはWindows 11にバージョンアップされ、よりスムーズな利用者対応が可能になった。自動化書庫においても、システム障害が何度か発生していたが、更新以降発生していない。</p>		
改善策	<p>計画的に図書館システム機器の更新を行うべく、3か年計画により対応してきた。今後も図書館を運営していくうえで、機器の更新は必要であるため、今後の更新計画を立てる必要がある。図書館利用者に安定的にサービスを提供するため、できるだけ図書館休館日に作業を実施する。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	図書館電子書籍貸出サービス事業				事業コード	100503630316					
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり					
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり				施策コード	422				
事業担当	所属	60050000 教育委員会 図書館			所属長	山路 智子					
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 図書館費	会計	01 一般会計	決算附属資料	237	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和7年度	関連計画名	第3次福知山市子どもの読書活動推進計画		R6現在の状況	継続中		
根拠法令等	図書館法、福知山市立図書館条例										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	中央館運営事業、佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業、図書館システム機器等更新事業、分館運営事業(三和・夜久野・大江)										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	図書館サービスの更なる利便性向上と「withコロナ」の時代における新しい生活様式に対応するため、24時間いつでもどこでも利用できる電子書籍貸出サービスを導入し、学校の休校時、外出抑制時における児童生徒の読書環境を整え、学びを支援すること、「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律(読書バリアフリー法)」を遵守し、身体的に来館や読書が困難である方への図書館サービスを拡大すること、非来館型サービスの充実を図ることにより、来館型と非来館型の併用によるハイブリッド図書館による多様な選択肢の確保と利便性の向上を目指すものである。										
対象者	福知山市民(在住、在学、在勤)	対象者数	85,000	単位あたりコスト	0.4						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	(株)図書館流通センター										
事業概要 (箇条書き)	来館型と非来館型の併用によるハイブリッド図書館による多様な選択肢の確保と利便性の向上のために、電子書籍コンテンツを継続して約6,000点を購入。電子図書館サイト内に特集展示やおすすすめ本の紹介など、趣向を凝らした電子図書館サービスを展開。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容								
	使用料及び賃借料	26,892	電子書籍コンテンツ使用料(5,562点)、図書館システム賃借								
	委託料	527	電子書籍用マーク作成業務委託料(システム連携)								
	役務費	330	ナクソス(音楽データベースサービス)利用料								

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	24,540	27,854	25,702	0				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0					
次年度繰越	0	0							
小計(①~③)	24,540	27,854	25,702	0					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	24,540	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	27,854	25,702	0				
決算情報	① 流充用額	0	△ 105						
	② 配当予算	24,540	27,749						
	③ 執行額	24,479	27,749						
	④ 執行率	99.8%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.62 / 0.43	0.40 / 0.48	/	/				
	② 概算人件費	6,164	4,544						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	30,643	32,293							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	図書館電子書籍貸出サービス事業基金繰入(ふるさと納税基金)	種類	基金繰入金	実績金額	27,748	決算附属資料	40	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	年間電子書籍貸出数	点	57368 / 180000	184237 / 180000	152825 / 180000	/ 180000	180000
年間電子図書館閲覧数	回	128512 / 360000	368006 / 360000	335551 / 360000	/ 360000	360000	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	電子書籍コンテンツ数	点	20918 / 24000	25925 / 24000	23696 / 24000	/ 24000	24000
	単位あたりコスト		1.5	0.9	1.2		
			/	45 /	/		
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	本市が実施した「スマートシティ推進に向けた市民アンケート調査」で、「電子図書館の整備」は実施してほしいサービス13位/50位となっており、電子図書館サービスの導入は市民満足度の向上につながっている。また、同じ電子図書館サービスを導入した全国355図書館のなかで、人口千人あたりの貸出数と閲覧数の両方で1位となるなど、多くの市民に利用いただいている。	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	導入している図書館流通センターは多くの市町村立図書館から選ばれており、コンテンツも豊富にあり、信頼度も高い。また、電子書籍貸出サービス導入のコンセプトは、リアルな紙の本と電子書籍の両方を充実させた「ハイブリッド図書館」による多様な選択肢の確保と利便性の向上を目指すものである。そのため、新たに購入する電子書籍は、既存の紙の本と相互連携させる必要があり、それができる業者が限定される。	<input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	図書館サービスの更なる利便性の向上と「withコロナ」の時代における新しい生活様式に対応するため、電子書籍貸出サービスの継続は必要と考える。また、読書は想像力が身に付き、心も豊かになるため、市内の小中学生約6千人に利用に必要なID・パスワードを付与したことにより、特に小中学生の利用が多くあることは、児童の活字離れの抑止に効果が出ていると考える。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	令和4年度から引き続き令和5年度も同じ電子図書館サービスを導入した全国355図書館のなかで、人口千人あたりの貸出数と閲覧数の両方で1位となるなど、多くの市民に利用いただいている。近年、全国的に電子図書館が注目されており、図書館総合展や京都図書館大会では、本市の取組事例を発表した。また、全国の図書館やマスコミ等からの問合せや視察も多く、全国から注目されるものとなっている。しかし、利用は少しずつ減少傾向であったが、2周年記念で行った「児童書・絵本読み放題パック」の導入により、再び利用が伸びた。このように、新しいサービスの展開も必要である。		
改善策	電子図書館をより多くの方にご利用いただけるよう、館内利用者、市内各施設や市内各団体などに積極的に広報活動を行う。電子書籍コンテンツ数を増やすとともに、電子図書館での特集企画を毎月ごとに展開することや、見やすいページづくりに努め、利用しやすい運営を行っていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	三和分館移転改修事業				事業コード	100503630317					
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり					
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり			施策コード	422					
事業担当	所属	60050000 教育委員会 図書館			所属長	山路 智子					
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 図書館費	会計	01 一般会計	決算附属資料	237	頁
計画期間	開始年度	令和4年度	終了予定年度	令和5年度	関連計画名	第3次福知山市子どもの読書活動推進計画		R6現在の状況	廃止/休止		
根拠法令等	図書館法、福知山市立図書館条例										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	三和分館運営事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	～子育てにやさしい図書館をめざして～ 三和支所改修工事の中で、SDGsに対応した、照明のLED化、トイレの改修、授乳室の新設、支所2階ロビーのフリースペースとしての活用等、支所周辺に点在する施設を集約し、住民の利便性をより高め「住み続けることができるまちづくり」を行うため、支所2階に移転し、施設の有効利用を図る。 新図書館は「子育てにやさしい図書館をめざして」をコンセプトに、関係機関と連携をはかりながら「教育と福祉の拠点」施設として支所が機能し、人と人とがつながり、子どもたちが集い、地域の方の居場所となるような読書支援サービスを行う。										
対象者	福知山市民(在住、在学、在勤)・三たん地域在住者	対象者数	650,085	単位あたりコスト	0.1						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	(株)図書館流通センター、(有)京都事務機販売、(株)ファイル二十一、(株)七彩プラスチック工芸、三丹開発(株)										
事業概要 (箇条書き)	三和分館移転改修工事完了後、オープニングイベントの開催。 教育の拠点施設として関係機関と連携し、図書館サービスの拡充を図る。 「子育てにやさしい図書館」をコンセプトに、地域の特性を活かした絵本に特化した図書館として、絵本・児童書を中心とした図書の購入、キッズスペース拡充のための備品購入を行う。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容								
	工事請負費	32,800	三和支所庁舎改修工事(図書館部分)								
	備品購入費	987	施設備品、図書								
	役員費	531	その他手数料								
	報償費	300	図書館三和分館移転オープン記念オリジナル作品考案謝礼								
委託料、需用費、使用料及び賃借料	502	制作・作成業務、その他業務委託、消耗品費、その他機器等借上げ料									

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	62,826	2,364	0	0				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	△ 39,270	39,270	0	0				
	前年度繰越	0	39,270	0					
	次年度繰越	△ 39,270	0						
小計(①～③)	23,556	41,634	0	0					
予算財源内訳	① 一般財源	656	1,434	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	21,900	39,200	0	0				
	⑤ その他特財	1,000	1,000	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	△ 31						
	② 配当予算	23,556	41,603						
	③ 執行額	23,187	35,120						
	④ 執行率	98.4%	84.4%						
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.32 / 0.12	0.32 / 2.00	/	/				
	② 概算人件費	2,896	8,160						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	26,083	43,280							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	三和分館移転改修事業(過疎対策)	種類	教育債	実績金額	32,800	決算附属資料	56	頁
		三和分館移転改修事業繰入(ふるさと納税基金)		基金繰入金		967		40	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
		三和支所への移転	式	/	0 / 1	1 / 1	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	移転開館イベント・展示の実施	回	/	0 / 2	4 / 2	/	2
	単位あたりコスト				8780.0		
	単位あたりコスト		/	47 /	/	/	三和分館移転改修事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	三和支所が教育と福祉の拠点施設として施設の集約を行う中、三和支所の教育の拠点施設としての役割を果たしていく必要がある。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	三和支所改修工事と合わせて工事発注し、支所周辺に点在する施設を集約することで、住民の利便性をより高める。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	「子育てにやさしい図書館」をコンセプトに、産屋の里にちなみ、子どもの健やかな成長を願い、地域の特性を生かした図書館として、授乳室の新設、キッズスペースの拡充、絵本・児童書を中心とした図書の選書を行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 三和分館移転改修工事完了後、2ヵ月間休館をし移転作業を行った。休館前に来館者や地元の子どもたちに「うれしい顔」の工作を行い、移転オープン記念として1階から2階への階段や図書館内に展示した。 休館中、移動図書館車を臨時運行させ、休館中も貸出ができるようにした。 移転オープンには、オープニングセレモニーを実施し、絵本作家の描き下ろし作品の除幕式を地元の子どもたちにより実施。作品の原画は図書館内に保管展示をし、拡大パネルにしたものは、ロビーにフォトスポットとして設置した。オープン当日には、地元有志による音楽によるおはなし会を実施した。分館特集巡回展示やみわとしょかんまつりなどを開催し、移転オープンを地元をはじめ多くの来館者と祝うことができた。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 「子育てにやさしい図書館」として、児童サービスの充実や同一施設内にある放課後児童クラブや地元保育園・学校等と連携を深め、読書活動推進に係わる取組を進めていく。 出張おはなし会や関係機関の集まりなどに関連本の紹介に向くなど、地域と密着しながら、新しい図書館をPRするとともに、地域の情報拠点としての役割を果たしていく。 面積が2倍となり、ゆっくりとくつろげる滞在型図書館として、本の見せ方や展示、配置などを計画的に行っていく。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--